

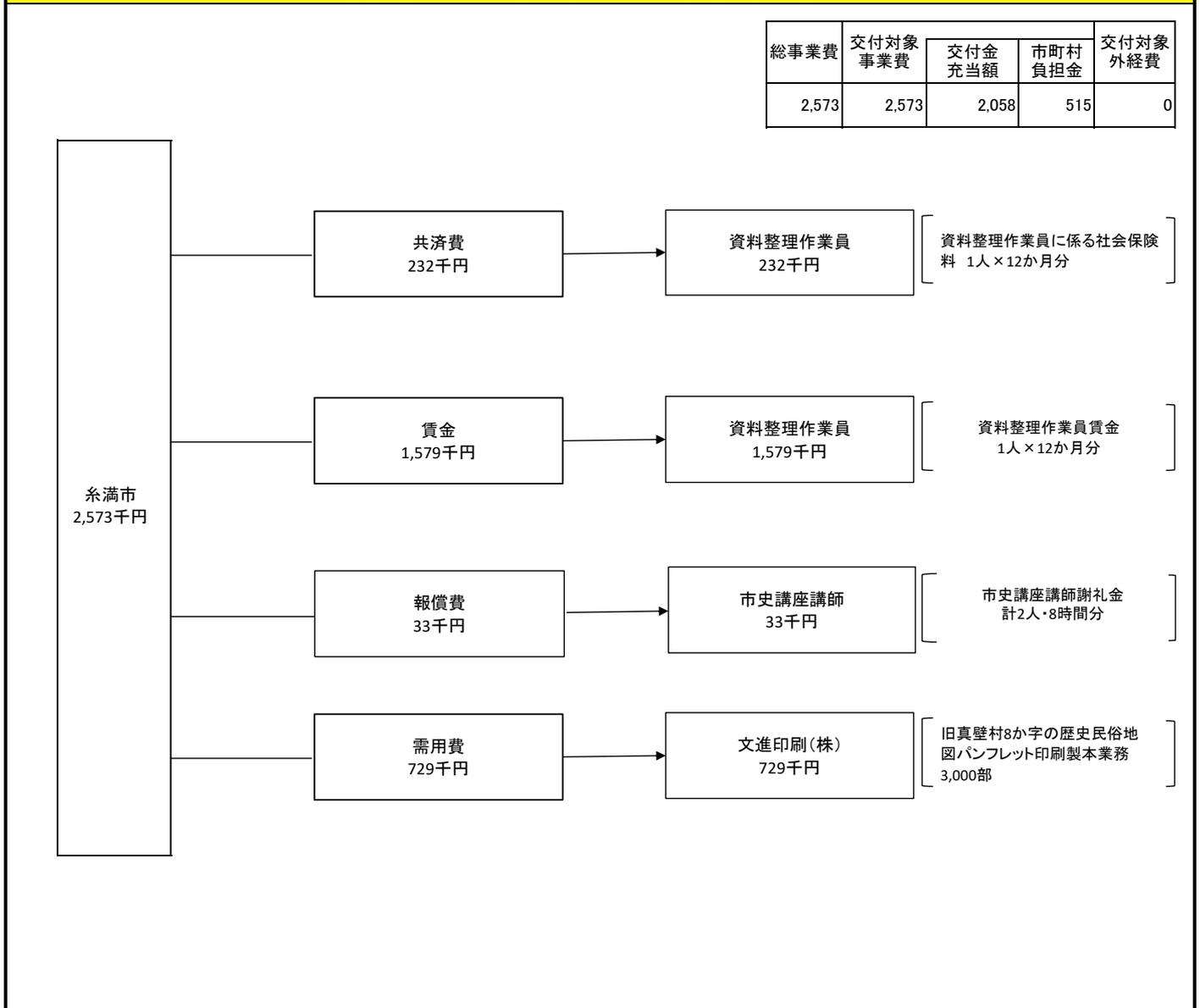
市町村名		糸満市										
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	1-① 生活感幸(観光)環境づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-エ							
	担当部課名	教育委員会 総務部 生涯学習課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	観光客の受入体制の整備						
事業内容		観光地としての魅力向上を図るため各地域の歴史、民俗地図等資料を作成し、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史等について学ぶ市史講座を開催する。										
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)											
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )											
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		
		(a) 当初予算額	2,001		2,163		2,047		2,267		2,661	
	(b) 予算現額	2,001		2,163		2,047		2,267		2,661		
	(c) 増減額(b-a)	0		0		0		0		0		
	(d) 繰越額	0		0		0		0		0		
	A. 計(b+d)	2,001		2,163		2,047		2,267		2,661		
	B. 執行済額	1,987		2,143		2,021		1,812		2,573		
	うち交付金充当額	1,589		1,714		1,616		1,450		2,058		
	次年度繰越額	0		0		0		0		0		
	執行率(%) (B/A)	99.3%		99.1%		98.7%		79.9%		96.7%		
予算の状況の説明		市史講座の報償費(講師謝礼金)について、当初は那覇市以南在住者を想定して計上したが、実施にあたって浦添市在住者に依頼したため、本市「講師等謝礼金支払基準表」に則り1千円を流用した。流用元は本事業の共済費(賃金職員に係る社会保険料)で、当初は社会保険料の増額を見越して計上していた1千円が、実施にあたって不用となったため流用可能となった。										
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況									
			H27年度		H28年度		H29年度		H30年度			
	各字の歴史民俗情報を調査し地図作成(地図印刷字数)		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	( 8か字 )	
			実績								8か字	
	市史講座で活用する他、窓口や本市観光協会などで配布し、市HP公開(市ホームページ公開件数)		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	( 1件8か字 )	
			実績								1件8か字	
糸満市史講座の開催(年2回)		目標	( 3回 )	( 2回 )	( 2回 )	( 2回 )	( 2回 )	( 2回 )	( 2回 )	( 2回 )		
		実績	3回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史民俗地図として、『糸満市の歴史と民俗を歩く 旧真壁村集落ガイドマップ』を作成した。本事業ではこれまで、地図を各字ごとに分けて発行していたが、今回は利便性を高めるため、小冊子とした。</li> <li>・歴史民俗地図の活用については、配布を継続しているほか、市ホームページで『糸満市の歴史と民俗を歩く 旧真壁村集落ガイドマップ』を平成31年3月28日に公開した。</li> <li>・市史講座を以下のとおり開催した。 第1回 「ジョン万次郎が見た風景をたずねて」(平成30年11月23日(金)開催) 第2回 「ジョン万次郎と琉球～古文書から学ぶ「歴史」の実像～」(平成31年1月27日(日)開催)</li> </ul>										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)		H28年度		H29年度		H30年度		目標値(年度)	
	ホームページで公開した歴史民俗地図のアクセス数900件以上		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	( 900件 )	(      )	(      )
			実績							1,565件		
	市の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、市史講座参加者へのアンケートにより本事業のあり方の検証		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	( 80% )	(      )	(      )
		実績							92%			
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(ホームページアクセス数)</li> <li>・地図配布時や、市民等からの問い合わせ対応時にホームページの周知を行う等の活動により、前年度から約300件の増加があった。なお、旧兼城村・旧高嶺村・旧糸満町の歴史民俗地図は各々別ページで公開していたが、平成31年3月28日に旧真壁村の地図公開と統合し、単一のページとしてリニューアルした。</li> <li>・(理解の深まり)</li> <li>・市史講座のアンケートに当該質問を加えたことにより、市史講座が受講者の知識向上に貢献していることを把握できた。</li> </ul>										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ホームページアクセス数) ・次回の歴史民俗地図の発行は令和3年度を予定しているため、既存のページのアクセス数維持・増進を図る必要がある。 (理解の深まり) ・講座の内容・講師の経験・受講者の年齢層等により、理解の深さに差が出る事が予想される。	(ホームページアクセス数) ・『旧真壁村集落ガイドマップ』に歴史民俗地図掲載ページのQRコードを掲載し、ホームページへのアクセスを誘導している。 (理解の深まり) ・講師との事前調整により、受講者が理解しやすい講座内容を設定する。

**今後の取り組み方針**

(ホームページアクセス数)  
 ・引き続き、市史講座での地図の活用や、問い合わせ対応時の周知等により、歴史民俗地図掲載ページへのアクセスの誘導を行う。  
 (理解の深まり)  
 ・市史講座は学術的な質の担保と受講者の理解を両立しなければならないため、適当な講師選定・内容設定と事前調整に努める。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は3者見積りでの随意契約で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者の費用負担はないが、歴史民俗地図作成には市民等からの情報提供が不可欠であることを鑑みると、関係は妥当であると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、需用費は精算段階で検査を実施しており、その他も目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	糸満市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③ 歴史記録資料デジタル化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり					
担当部課名	教育委員会 総務部 生涯学習課	事業実施(予定)年度 平成30年度 沖縄振興基本方針該当箇所 III-1-(1)					
事業内容	本市の歴史・文化を継承するため、本市に関する音声・映像資料群(カセットテープ・8mmフィルム等)の映像資料をデジタル化し、『糸満市史』編集や展示等で活用する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,925				
		(b)予算現額	2,925				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	2,925				
	B.執行済額		2,192				
	うち交付金充当額		1,753				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		74.9%				
予算の状況の説明		不用額733千円は委託費の入札残によるものであり、事業は計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	歴史・文化を記録した資料群(カセットテープ等)のデジタル化	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	資料群の総数は、当初1,258点であったが、実施に際して資料数量を確認したところ、本市で未登録及び単一の名称で分割されている資料があったため協議の上、資料数量を3点増やし1,261点として実施した。なお、金額の変更は行わなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)
	市の歴史・文化を記録した資料群のデジタル化の完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R1成果目標】 ホームページで公開した市の歴史・文化に関する資料のアクセス数340件		目標				
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声資料はMP3形式及びWAV形式、映像資料はAVI形式及びMP4形式並びにDVD-video形式でデジタル化したことで、本市の歴史・文化的資料を複製して消滅を防いだ。また、収録内容の再生を容易にし、活用可能な環境を整えた。</li> <li>デジタルデータはDVD及びハードディスクドライブに保存した。</li> <li>資料群のデータベースを作成し、検索を容易にした。</li> </ul>						

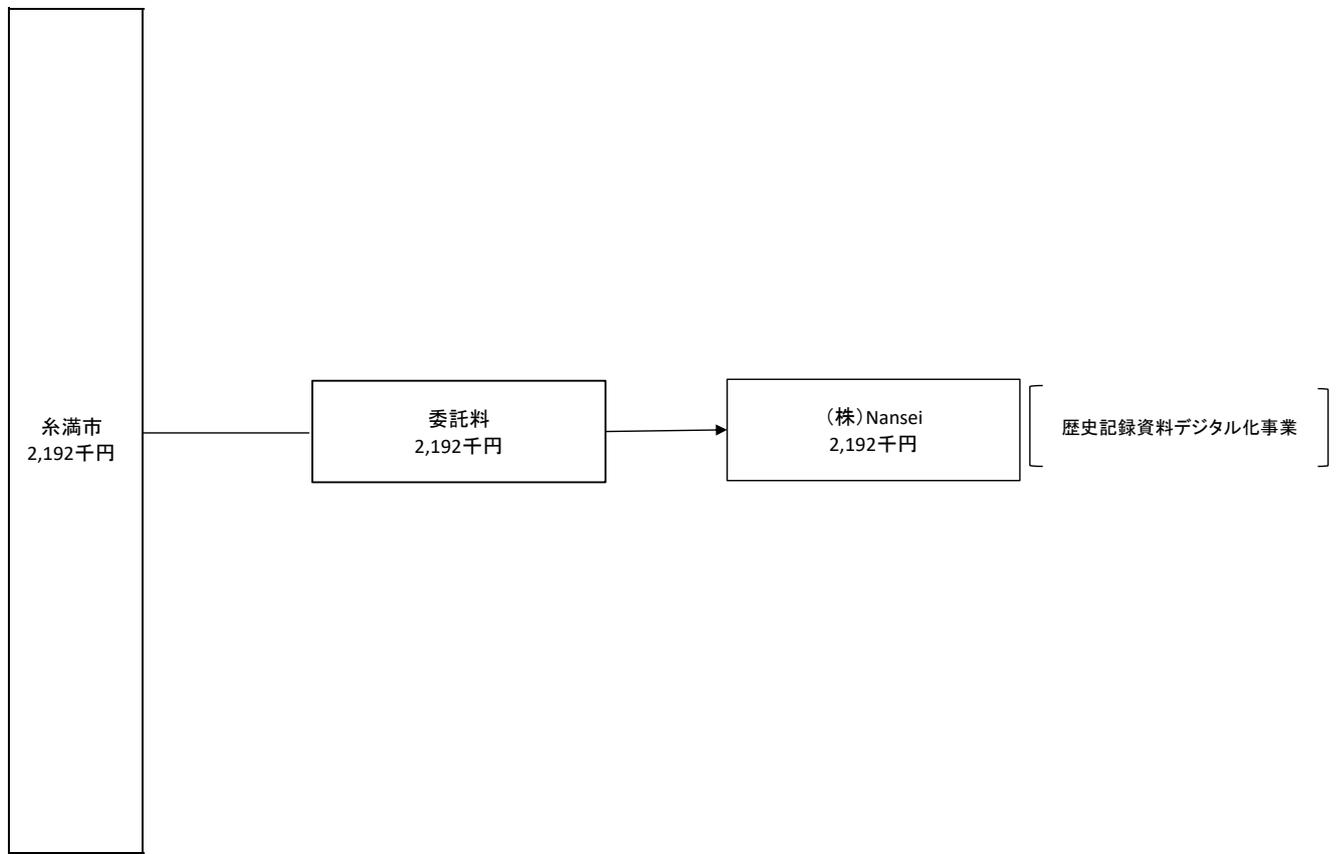
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化した資料群の大半は、本市が40年以上続く市史編集事業の実施により作成・収集したもので、把握していた数量と実際の数量に若干の差があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化により資料群の数量を正確に把握できた。また、デジタル化に伴い原資料の整理も行ったため、今後は適切な保管に努める。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- デジタルデータを『糸満市史編集』に活用して市民等への本市の歴史・文化の知識の普及に努める。
- 令和元年度内にデジタルデータを本市ホームページで公開し、市内外から本市の先人の肉声を聴くことが出来るようにする。
- デジタルデータを展示等に活用し、市民等が気軽に本市の歴史・文化に触れられるようにする。
- 整理した原資料は適切な温湿度環境のもと保管する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,192	2,192	1,753	439	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定した。指名業者選定は、他市町村、電話帳等複数の情報源を元に選出し、指名業者選定委員会を経て選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、指名競争入札の結果、733千円(約25%)が不用額となったが事業内容に見合った適正な規模となっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 観光地危険生物駆除事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ			
	担当部署名	市民健康部 市民生活環境課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	観光客の受入体制の整備		
事業内容	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	3,885	3,558	3,444	2,485	2,640
	(b) 予算現額	3,885	3,558	3,444	2,485	2,640	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	3,885	3,558	3,444	2,485	2,640	
	B. 執行済額	3,446	3,287	3,264	2,331	2,598	
	うち交付金充当額	2,756	2,629	2,611	1,864	2,078	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.7%	92.4%	94.8%	93.8%	98.4%	
予算の状況の説明	平成30年度は執行率が98.4%となり、ほぼ当初予算通り執行することができた。不用額42千円は、主に消耗品費・燃料費に伴う減である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	ハブ捕獲器の設置150基	目標	( 設置 )	( 設置 )	( 設置 )	( 150基 )	
		実績	設置完了	設置完了	設置完了	154基	
	ハブ生息地の調査15カ所	目標	( 調査 )	( 調査 )	( 調査 )	( 15カ所 )	
		実績	調査完了	調査完了	調査完了	15カ所	
達成状況説明	ハブ生息地において、過去の捕獲実績に基づき調査(延べ15カ所)を行った。また、市内主要観光地におけるハブ捕獲器の設置を重点的に配置した。ハブ捕獲器においては、経年劣化により補修や修繕を行い、延べ154基を保有している。その内、110基を観光地や生息地である喜屋武岬や平和創造の森公園等へ設置し、生息密度を下げるため観光地周辺の民有地(三和地区・高嶺地区)においても20基設置している。また、緊急時でも対応できるように24基はストックとして保管しております。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(26年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	ハブ咬傷被害件数2件	目標	(      )	(      )	(      )	( 2件以下 )	(      )
		実績				2件	
	【参考指標】 ハブ及びサキシマハブ捕獲率 (捕獲率/捕獲器設置数)	目標	(      )	(      )	( 103.75%以下 )	(      )	(      )
		実績			64.2% (77匹/120基)		
【参考指標】 ハブ捕獲頭数	目標	( 1000匹 )	( 200匹 )	(      )	(      )	(      )	
	実績	120匹	148匹				
進捗状況説明	平成29年度は捕獲率を用いて成果目標を掲げていたが、本事業の目的が捕獲することではなく観光客等へのハブ咬傷被害の軽減が目的のため、平成30年度においては、成果目標をハブ咬傷被害件数とした。成果目標をハブ咬傷被害件数2件以下としていたが、実績として被害件数が2件発生したため、今後も事業継続する必要がある。						

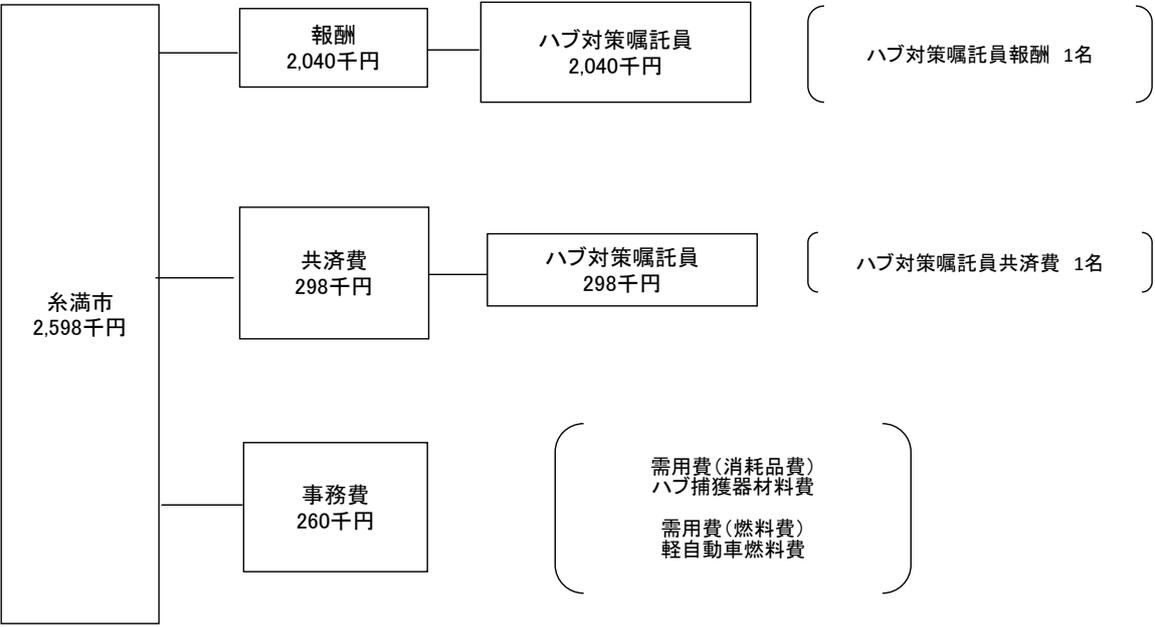
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該年度中にハブ咬傷被害が2件発生した。2件とも観光施設での被害ではなかったが、今後は観光施設での発生も懸念される。</li> <li>・本市は近隣市町村と比べ咬傷件数が多くハブの生存率も高く感じられ今後とも当事業を継続する必要性を感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の成果目標としてハブ咬傷被害件数を2件以下としたが、被害が2件発生した。今後は、捕獲器の設置場所や時期等も検討し効率的な駆除方法を考察することを要する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・継続的に事業を実施しており、一定の事業効果は上げている。しかし、本市では外来種であるサキシマハブの目撃情報等があり、引き続き駆除活動を行う。  
 ・ハブ駆除においては、継続的な実施を行わなければ個体数の増加もあるとの報告もあるため、ハブ咬傷被害件数の減少を目標に掲げ、被害件数が増加しないように注意喚起看板等の新規設置を実施し、観光地周辺の安全安心を確立していく。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,598	2,598	2,078	520	



資金の流 れ、点 検、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法について、嘱託職員は同様事業での経験豊富な者を任用しており、消耗品等購入先も妥当と認められる。 ○不用額は1.6%であり、適切な予算規模である。 ○費目、用途については、書類等で確認しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	糸満市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	観光地危機管理対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-3-(2)-エ			
担当部課名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	平成28～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	観光施設が立地する本市において、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対応できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食や防災資機材等の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	令和元年	令和2年	
	予算の状況	(a)当初予算額	50,269	14,320	15,693		
		(b)予算現額	50,269	14,320	15,693		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)繰越額	0	0	0		
		A.計(b+d)	50,269	14,320	15,693		
	B.執行済額		49,662	14,314	15,245		
	うち交付金充当額		39,730	11,451	12,196		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		98.8%	100.0%	97.1%		
予算の状況の説明		不用額448千円は入札残によるものであり、事業は計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	令和元年	
	指定避難所への防災資機材の整備 (喜屋武小学校・兼城小学校・高嶺中学校)	目標	( 3 )	( 3 )	( 3 )	( )	
		実績	3	3	3		
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	指定避難所の整備について、計画通り3施設の整備を行った。毎年度3施設ずつ整備を行い、令和元年度に全12施設の整備を目標とする。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R2年度)
	指定避難所へ防災資機材の整備完了(3箇所)	目標	( )	( 3 )	( 3 )	( 3 )	( )
		実績		3	3	3	
	備蓄食料の備蓄率75%	目標	( )	( )	( )	( 75% )	( )
		実績				75%	
【R2成果目標】 整備した資機材等を活用した避難防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。		目標				1回	
進捗状況説明	指定避難所の整備について当初計画通り3施設の整備が完了した。整備後は災害時に円滑な避難所運営ができるよう各施設との協定を締結した。また、人目に付きにくい防災倉庫には格子を取付け防犯の強化を行った。						

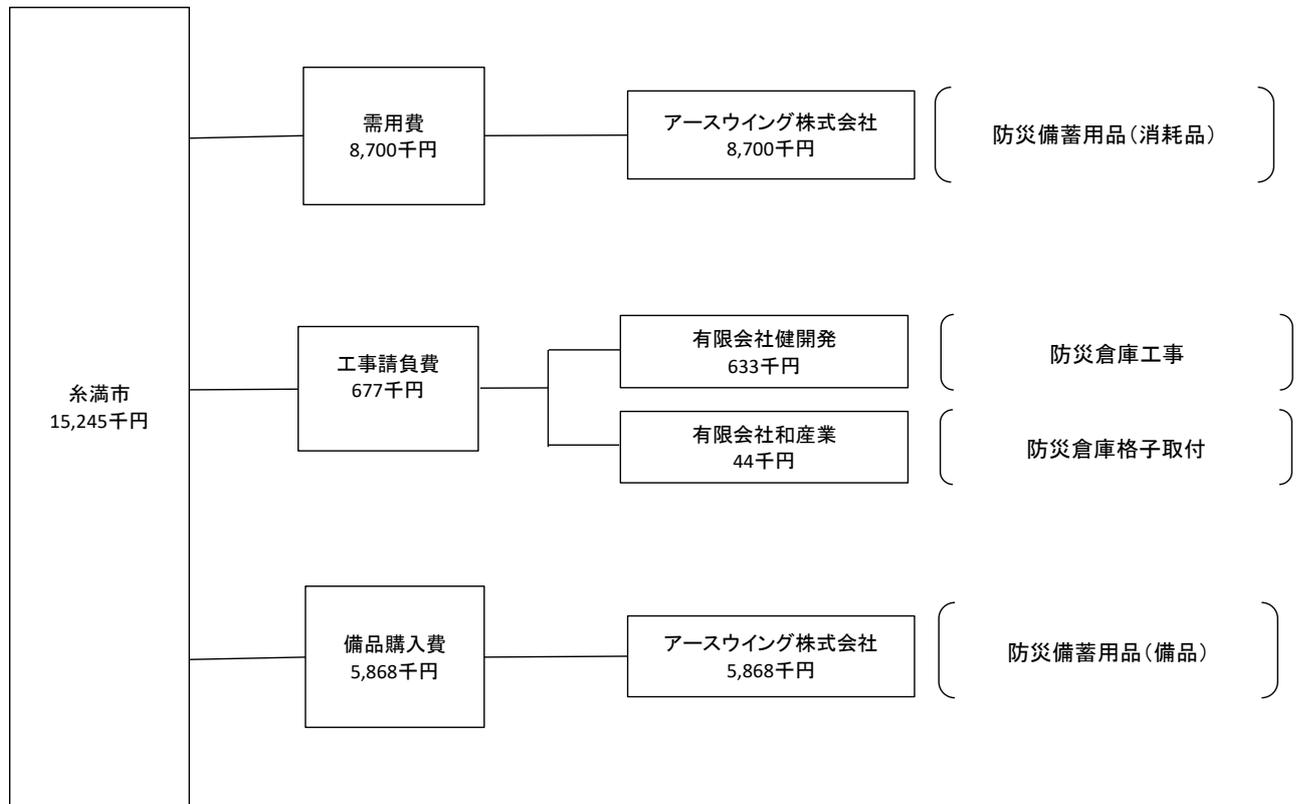
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・備蓄食糧や防災資機材には保存期間や有効期限があるため、適切な管理が必要である。また、高額な資器材等もあるため、防犯にも留意する必要がある。</p>	<p>・整備後は、年1回以上の点検。防災倉庫の場所の選定や防犯の強化を検討する必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・災害時に備え、避難所運営訓練の実施。物品管理簿の作成、年1回以上の点検。また、整備した防災倉庫や資器材に異常があった場合、速やかに対応できるよう各施設との関係を強化する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,245	15,245	12,196	3,049	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札及び地方自治法施行令第167条の2第1項第1号を根拠とした見積もり比較による随意契約の適正な手続きにより実施されており、妥当であると考えます。 ○不用額は3%以内であり、適正な規模であった。 ○費目・使途については、精算段階で検査、確認を実施しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-① 糸満イベント推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア			
	担当部署名	経済観光部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	地域の伝統芸能の保存継承、平和に対する意識の向上及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭り、並びに平和の光イベントへの支援を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,818	15,820	15,876	16,756	16,751	
		(b) 予算現額	15,818	15,820	15,876	18,756	17,951	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	2,000	1,200	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	15,818	15,820	15,876	18,756	17,951	
	B. 執行済額		15,805	15,782	15,806	18,637	17,894	
	うち交付金充当額		12,643	12,625	12,645	14,910	14,315	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		99.9%	99.8%	99.6%	99.4%	99.7%	
予算の状況の説明		警備会社への委託費高騰に対応するため、予算を1,200千円増額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	糸満ふるさと祭りに係る運営費の補助(糸満ふるさと祭り) 日程:平成30年8月 会場:糸満漁港北地区 内容:地域伝統芸能、一般団体演舞、県内アーティストステージイベントなど		目標	( イベントの開催 )	( イベントの開催 )	( イベントの開催 )	( 補助実施 )	
			実績	イベントを開催	イベントを開催	イベントを開催	補助実施	
	平和の光に係る運営費の補助(平和の光イベント) 日程:平成30年12月～平成31年1月 会場:糸満市観光農園、平和祈念公園、道の駅いとまん(サテライト) 内容:イルミネーション、ステージイベント、平和にまつわるテーマに基づいた作品を募集し展示など		目標	( イベントの開催 )	( イベントの開催 )	( イベントの開催 )	( 補助実施 )	
			実績	イベントを開催	イベントを開催	イベントを開催	補助実施	
達成状況説明		<b>【糸満ふるさと祭り】</b> 新たな発想や企画を取り入れるため、民間の会社へイベントの企画・運営を委託した。当日はあいにくの悪天候により延期を余儀なくされ、一週間後の平成30年8月19日(日)のみの実施となった。 <b>【平和の光事業】</b> 恒久平和を願うイベントとして平成30年12月15日(土)～平成31年1月3日(木)までの20日間実施した。平和の祈りをサーチライトで高くまで照射する「平和の光の柱」、観光客誘致のための「道の駅いとまん」の電飾も同期間行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	糸満ふるさと祭り エイサー演舞者数230人 来場者数46,000人		目標	(      )	( 46,000人 )	( 230人 46,000人 )	( 230人 46,000人 )	(      )
			実績		128人 38,534人	150人 44,210人	0人 24,000人	
	平和の光 イベントに参加した市民ボランティアの数310人 来場者数92,000人		目標	(      )	( 91,000人 )	( 310人 92,000人 )	( 310人 92,000人 )	(      )
			実績		234人 72,357人	361人 64,029人	375人 61,012人	
	進捗状況説明		<b>【糸満ふるさと祭り】</b> 達成状況説明にも記述したとおり、台風接近により予定していた2日間から1日のみの開催になったため、エイサーが実施できず、エイサー演舞者数及び来場者数ともに成果目標の数字を達成することが出来なかった。 <b>【平和の光事業】</b> クリスマスシーズンが大雨だったことにより、平成29年度を約30,000人下回る来場者数となった。成果目標である市民ボランティアの数は達成することが出来たが、来場者数の目標には達することが出来なかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>【糸満ふるさと祭り】 8月の暑い時期ということもあり、来場客の暑さ対策を講じながら日中からでも楽しめるような催しが必要と考えられる。 季節的に台風が襲来することが多いことから、イベント中止を補償するためイベント保険などの加入検討が必要と考える。</p> <p>【平和の光事業】 来場者数が目標を下回った要因として、12/24・12/25の集客時期が大雨だった事が考えられる。また、県内において宿泊施設や公園など、無料でもイルミネーションが見られるスポットが増えた事も少なからず影響していると考えられる。 会場へのアクセスが不便な場所にあり、周辺の渋滞を懸念し来場者が減少にあると考えられる。</p>	<p>【糸満ふるさと祭り】 日中の暑さを少しでも避けるため開始時刻を遅らせることにより暑さ対策を行う。また、開催時間の短縮による来場者数の減を解消する必要があり、魅力ある内容にするため引き続き専門業者への外部委託による実施を検討する。</p> <p>【平和の光事業】 天候により来場者数が偏る事を防ぐため、屋内施設の有効活用や、雨天時の雨よけ対策を講じる等の改善策を検討していきたい。また、雨天でも楽しめるような雨や水をテーマにしたイルミネーションなど工夫を凝らし魅力あるイベントになるよう努める。</p>

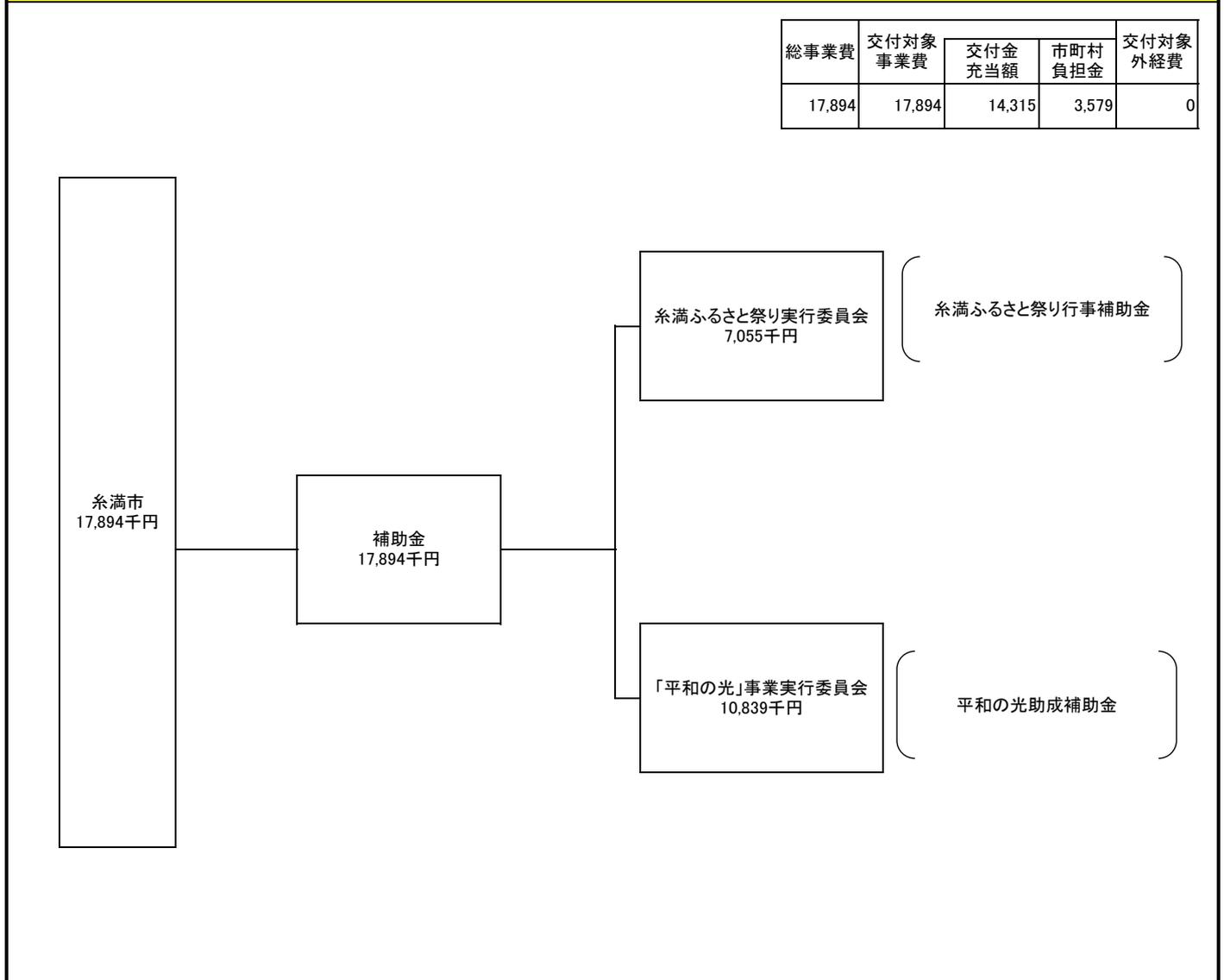
**今後の取り組み方針**

【共通】両イベントの共通問題でもある天候による影響は避けられないものがある。また、予算面でも限界があり、ご協賛頂いている企業への負担も多課題となっている。

【糸満ふるさと祭り】  
市内外からの来場者を迎え入れるため夏休み期間中に実施しており、暑さ対策は必須である。しかし、舞台周辺に日除けできる建物が無い大型テントなどの設置をしなければならぬ多額の費用を必要とする。暑い時間帯を避けるため開始時間を遅らせるなどし対応し、市内の魅力ある伝統芸能をPRしながらイベント開催に取り組む。  
予算面では、企業からの協賛を多くいただくような企画にも取り組み、また、専門業者へ業務委託を図るなどし祭りの魅力を高めるよう取り組む。

【平和の光事業】  
事業運営協力金(事業収入)が収入の約5割を占めている状況もあり、来場者数の減少は事業運営に大きな影響を与えるものであることを踏まえると、雨天時の対策やステージイベントの拡充に取り組む。雨天時の傘貸出しに加え、屋内イベントの開催、雨天時休憩用のテントを設置する等を検討し、また、平日などの閑散期には集客できるような出演者を組み込むなど、来場者が平均的に継続して足を運んでもらえるようなプログラムを構成する。イベント周知の方法にも工夫を凝らし事前周知に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両イベントは実行委員会が事業主体となっており、イベントの準備から実施・撤収まで運営している実行委員会を補助事業者として充てるのは妥当であるといえる。</li> <li>・両イベントを併せて不用額が予算の0.3%であり、予算規模は適正であったといえる。</li> <li>・両イベントともに実績報告書の受理・検査を受けており、費目・使途は適正だったといえる。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市										
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	4-② 滞在型観光推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-エ							
	担当部課名	経済観光部 商工観光課		事業実施(予定)年度 平成24~令和3年度		観光客の受入体制の整備						
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)						
事業内容		潜在的な観光資源の認知拡大や地域人材の育成を図るため、観光プログラムのプロモーション活動や周遊型パスポートの配布、運用を行う。										
効果発現年度		<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)										
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		
		(a) 当初予算額	5,614	8,614	9,380	18,813	14,028					
	(b) 予算現額	5,614	8,614	9,380	13,813	14,028						
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 5,000	0						
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0						
	A. 計(b+d)	5,614	8,614	9,380	13,813	14,028						
	B. 執行済額	5,613	8,614	9,369	13,750	13,990						
	うち交付金充当額	4,490	6,890	7,495	11,000	11,192						
	次年度繰越額	0	0	0	0	0						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100%	99.9%	99.5%	99.7%						
予算の状況の説明		予算額14,028千円に対して、委託契約により13,990千円を執行した。執行率が99.7%となり、当初予算通り執行することができた。										
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況									
			H30年度		R1年度		R2年度		R3年度			
	体験交流促進事業 サバニ乗船体験や島豆腐作り体験等、過年度で開発した観光プログラムのプロモーション活動の実施		目標	(      実施      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	
			実績	実施								
	周遊型パスポート事業 過年度で開発したスタンプラリー形式のパスポートを配布し、Webを開発・運用		目標	パスポート配 ( 布、Web開発・運 用 )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	
		実績	パスポート配布、Web の開発・運用									
達成状況説明		体験交流促進事業では、県外で開催されたフェアや説明会等で、過年度に開発した体験メニューを積極的にプロモーションした。周遊パスポート事業については、パスポートを配布できる事業所を増やし、観光協会以外でも配布できるようにした。Web開発は観光協会が独自事業で行うこととし、アプリの開発・運用を行うことで、本事業の効果を高めた。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)		H30年度		R1年度		R2年度		目標値(年度)	
	体験観光メニュー参加者数600人		目標	(      )	( 600人 )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
			実績		1,297人							
	周遊型観光プログラム参加者数630人		目標	(      )	( 630人 )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
			実績		887人							
進捗状況説明		体験観光メニューは「海の運動会」が好評で、1,000人近い参加があった。周遊型観光プログラムは当初参加者数が伸び悩んでいたが、後半に参加者数が伸び、目標値を達成できた。										

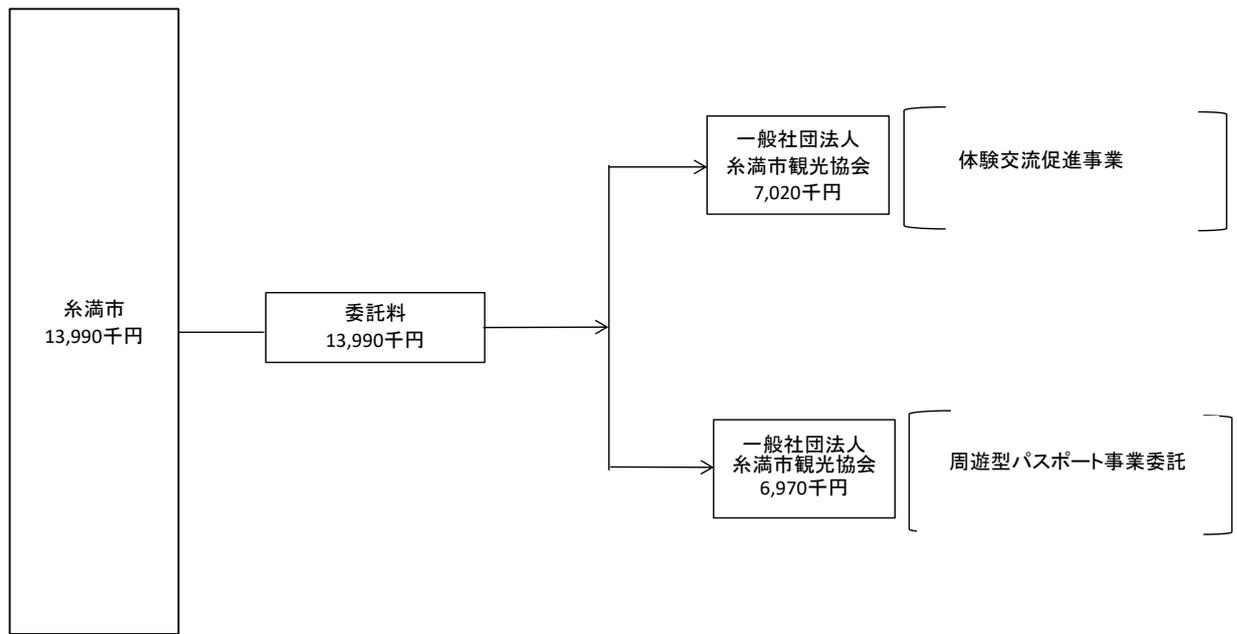
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験観光メニューは、団体旅行客を受け入れることが重要と考える。</li> <li>・周遊観光プログラムは、パスポートの配布事業所を増やし、イベント開催時にブースを設けて周知することが効果的だと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体旅行誘客の基本的なツールは整備できたものの、さらなる誘客に向けては旅行会社とのタイアップが必須である。沖縄県やOCVB主催誘客イベントに継続的かつ積極的に参加していくこととする。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・これまでの取り組みにより、観光協会が運用できる仕組み作りができたことから、今後は観光協会が事業を引き継ぎ運用していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,990	13,990	11,192	2,798	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者の一般社団法人糸満市観光協会は、団体の性格から利益を追求するものではない為、一般企業よりも安価で契約が出来ることから、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定に基づき随意契約にて締結した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は殆どなく、適正な予算規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について、実績報告書を受理して検査した結果、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

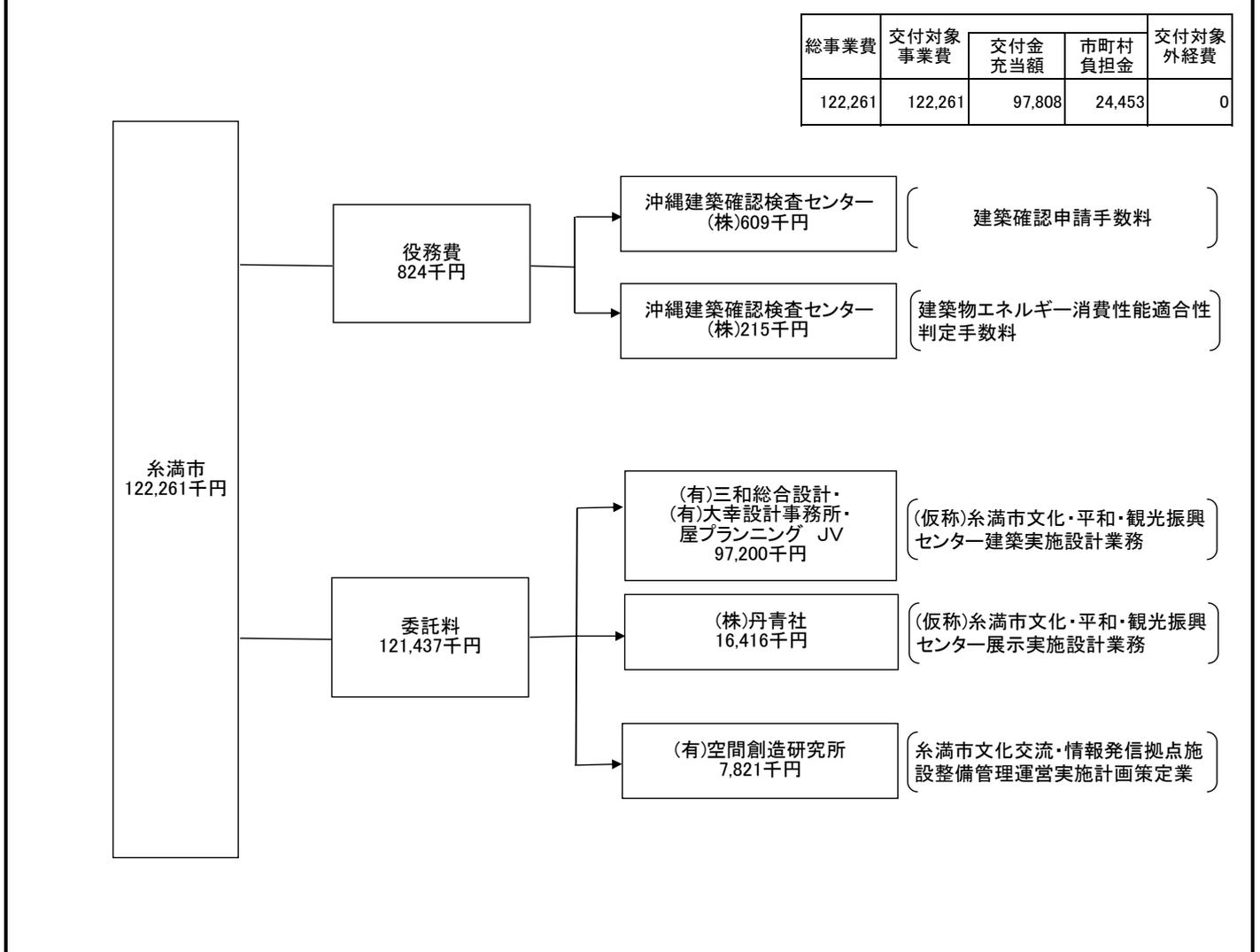
市町村名		糸満市				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	4-③	文化交流・情報発信拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ
	担当部課名	企画開発部 政策推進課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流
事業内容		糸満市の歴史的魅力や観光情報の発信と文化芸術の保全・継承の場及び観光客と市民の体験・交流活動が可能な拠点の確保を図るため、文化交流・情報発信拠点施設の整備を行う。				
	効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a)当初予算額	23,384	87,666	277,836	69,731
	(b)予算現額	24,131	87,666	10,626	61,714	133,803
	(c)増減額(b-a)	747	0	▲267,210	▲8,017	▲41,197
	(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A.計(b+d)	24,131	87,666	10,626	61,714	133,803
	B.執行済額	23,898	79,154	10,345	55,158	122,261
	うち交付金充当額	19,118	63,323	0	0	97,808
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	99.0%	90.3%	97.4%	89.4%	91.4%
予算の状況の説明	平成27年度に基本計画・設計を行ったが用地取得費や施設規模が膨大で、市の財政負担が大きいことから、単独事業で平成28年度に基本計画等の見直し、平成29年度に基本設計(その2)を行った。平成30年度は実施設計を行ったが、建築及び展示実施設計業務の入札残、経費の節約及び精査により41,197千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	文化交流・情報発信拠点施設建築実施設計の実施	目標	(基本設計実施)	( )	(基本設計(その2)実施)	(実施設計実施)
		実績	基本設計実施		基本設計(その2)実施	実施設計実施
	文化交流・情報発信拠点施設展示実施設計の実施	目標	(基本設計実施)	( )	(基本設計(その2)実施)	(実施設計実施)
		実績	基本設計実施		基本設計(その2)実施	実施設計実施
文化交流・情報発信拠点施設管理運営実施計画の実施	目標	( )	(基本計画見直し実施)	( )	(実施計画実施)	
	実績		基本計画見直し実施		実施計画実施	
達成状況説明	・建築・展示実施設計については、基本設計を基に詳細検討を行い完了した。 ・管理運営実施計画については、管理運営基本計画を基に有識者等で構成した委員会の詳細を検討し、実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R4年度)
		文化交流・情報発信拠点施設建築実施設計の策定	( )	( )	基本設計(その2)策定	建築・展示実施設計策定
	文化交流・情報発信拠点施設展示実施設計の策定	( )	( )	基本設計(その2)策定	建築・展示実施設計策定	( )
	文化交流・情報発信拠点施設管理運営実施計画の策定	( )	(基本計画見直し策定)	( )	実施計画策定	( )
	[R4成果目標] ①地域発信エリア(常設展示室、企画展示室)年間利用者約25,000人②創造発信エリア(大ホール、多目的室)年間利用者約40,000人③継承体験エリア(活動室、会議室)年間利用者約22,000人	目標				87,000人/年
	進捗状況説明	・基本設計を基に実施設計を完了し、建築確認許可も済んだことから建設工事を行う準備が整った。 ・施設開館に向けて管理運営実施計画を策定し、事業計画や管理運営組織、料金設定の考え方について整理・検討した。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(建設工事) ・工事を行う準備が整ったため、業者選定の入札等及び契約の手続きを行う必要がある。 (運営体制) ・グランドオープンに向けて、運営体制を決定し開館にむけて準備する必要がある。	(建設工事) ・スケジュール内での完成を目指して、入札及び契約等の手続きを速やかにを行い、適切な工程管理を行う。 (運営体制) ・運営体制の検証や事業を実施するため関連部署等との調整等、計画を効率的に実施できるよう詳細を検証する。

**今後の取り組み方針**

(建設工事)  
・令和元年度から令和3年度に掛けて工事に着手、適切な工程管理を行い完成に向けて取り組む。  
(運営体制)  
・本市の機構改革を行い、運営組織を決定する。グランドオープンに向けて、実際に運営組織が行う業務が増えるため、早期に運営体制を決定し、開館に向けた準備に取り組む。

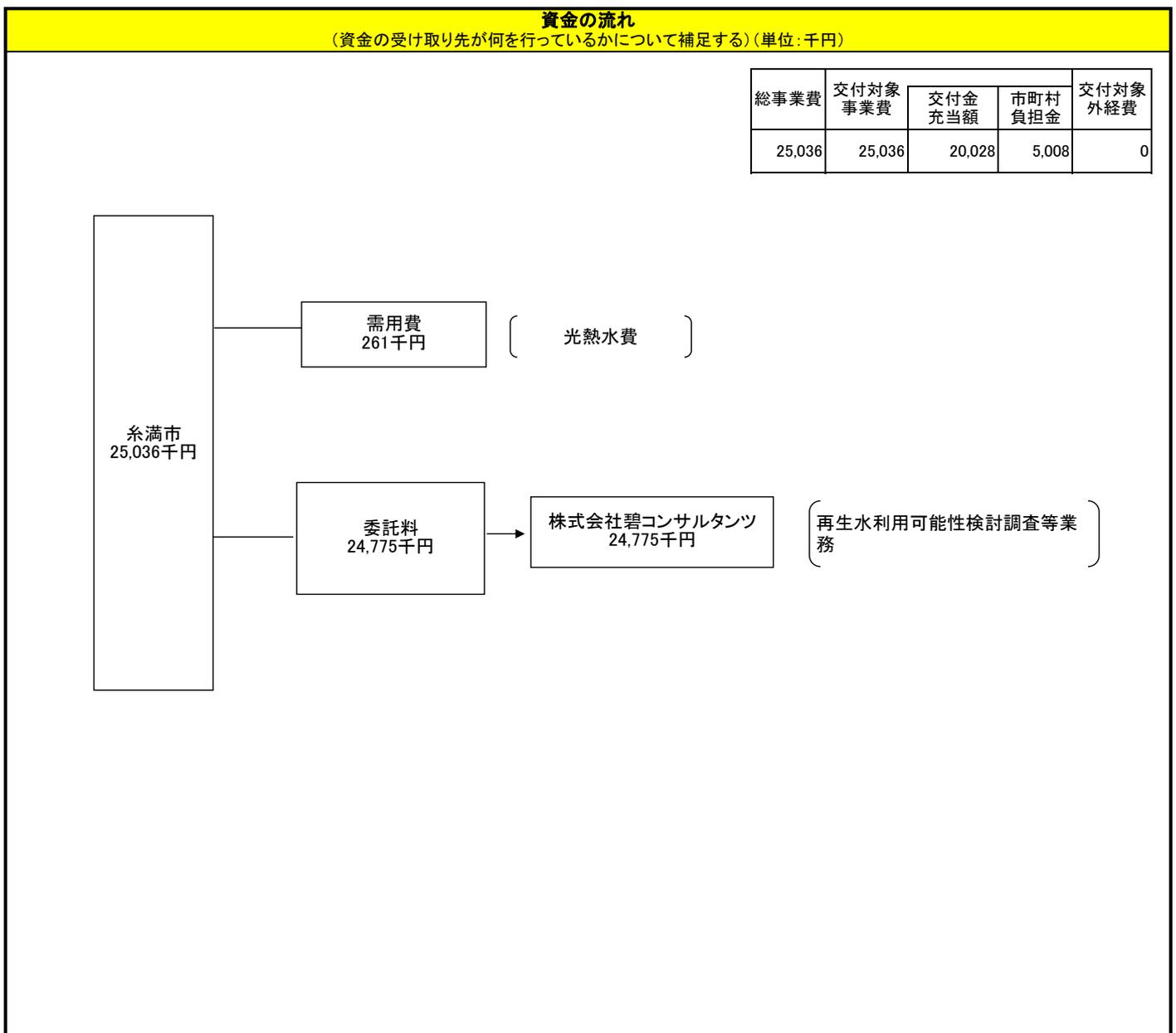
**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託費の支出先の選定は、地方自治法施行令第167条による指名競争入札(建築・展示実施設計業務)、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により関連業務の実績がある業者との随意契約(管理運営実施計画策定業務)のため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、建築及び展示実施設計業務の入札残と、経費の節約及び精査により減額したが、減額後も概ね執行しており適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途についても、仕様書に即して事業目的を達成しており適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	糸満市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 再生水等循環型に関する実証事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 沖繩振興基本方針該当箇所					
担当部課名	経済観光部 農村整備課	事業実施(予定)年度 平成29～令和3年度 第3章-3-(7)-カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 III-1-(6)					
事業内容	本市の下水処理水の未利用資源に着目し、大半が東シナ海へ放流されている処理水を再生水として利活用する水資源循環型を構築する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		24,155	25,394			
			24,155	25,394			
			0	0			
			0	0			
			24,155	25,394			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		23,802	25,036			
			19,041	20,028			
			0	0			
		執行率(%) (B/A)	98.5%	98.6%			
予算の状況の説明	不用額358千円については、委託業務の入札残等によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	再生水等循環型に関する実証事業の実施	目標	( 実施 )	( 実施 )	( )	( )	
		実績	実施	実施			
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	・再生水等循環型に関する実証事業の実施内容 ① 通年における再生水製造機器の安定運転の実施 ② 製造した再生水の施設内外での水質等の分析調査(年4回) ③ 有識者を含めた検討委員会の開催(年2回) ④ 再生水を利用した農作物の実証販売(年4回)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)	
	調査報告書の作成	目標	( )	( 完了 )	( 完了 )	( )	( )
		実績		完了	完了		
	【R4成果目標】 実証事業の成果及び今後策定した基本構想・計画等を基に定めた指標を目標とした再生水の実用化に係る施策を実施していく。	目標					-
進捗状況説明	再生水循環型に関する実証事業に係る調査報告書の作成完了。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・今後の再生水利用への課題は、再処理にコスト負担が必要となることと、使用者等の嫌悪感と風評被害である。</p>	<p>・再処理コストの改善対策として、再生水実証プラントの実証調査による現実的なコストの算定と、多目的利用の調査結果より対応策を検討する。          ・使用者等の嫌悪感と風評被害への改善対策として、使用者及び消費者への啓発活動や実証販売調査の結果を反映させ、再生水利用を分かりやすく説明したパンフレットやホームページへの掲載にて対応する。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・本事業において実施している実証事業(基礎調査)を基にして、今後の基本構想・計画等を目指した再生水の実用化に係る施策を実施していくことを目標とする。</p>		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であった。            ○不用額は2%以内であり適正な規模であった。            ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	平和ガイド育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-(ア)		
担当部課名	企画開発部 秘書広報課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	平和教育・平和観光に役立てるため、平和ガイドを育成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		19,370	32,533	25,183	7,637	4,273	
		19,396	32,533	25,183	7,637	4,273	
		26	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	
	B. 執行済額		18,914	31,792	23,168	4,718	3,297
	うち交付金充当額		15,131	25,433	18,534	3,774	2,637
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.5%	97.7%	92.0%	61.8%	77.2%
	予算の状況の説明		県外宿泊研修参加人数減少により不用額が976千円発生したため、執行率が77.1%となった。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	平和ガイドの育成(研修6回、宿泊研修2回)		目標 (研修6回、実践1回)	(研修6回、実践1回)	(研修6回、実践1回)	(研修6回、宿泊研修2回)	
			実績 研修6回、実践1回	研修6回、実践1回	研修6回、実践1回	研修6回、宿泊研修2回	
			目標 ( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	平和ガイド育成については、研修を7月～12月に計6回、宿泊研修2回実施、目標を達成。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	児童生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者及び研修生が在籍する各学校の校長に対するアンケートにより本事業のあり方を検証。		目標 ( )	( )	( )	( 80% )	( )
			実績			87%	
	【参考指標】平和ガイドの市関連事業参加率(80%)		目標 ( )	( 70% )	( 80% )	( )	( )
			実績	71%	84%		
進捗状況説明	保護者・学校関係者を対象にしたアンケートでは、「生徒の平和に対する意識が変わった・深まったか」に対し(とても思う・思うを合わせて)87%の回答。平和ガイド育成事業に対する評価も(とてもよい・よいを合わせて)80%を超えており、目標を達成したといえる。						

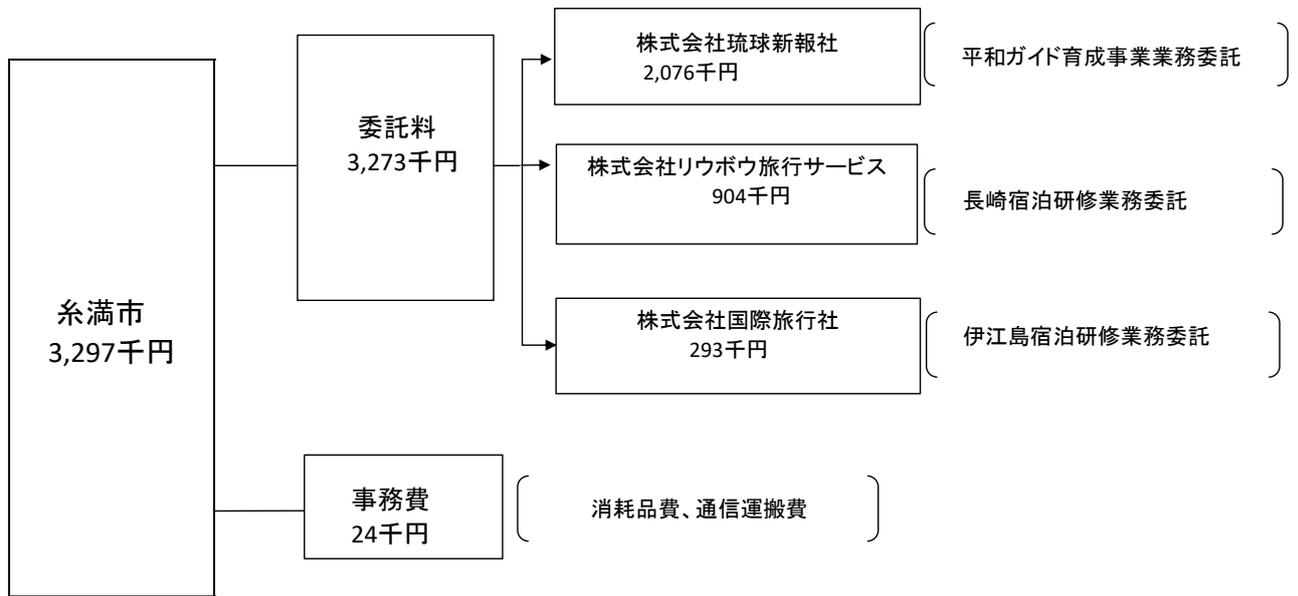
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の線上がりや学業・部活動などの兼合いを理由に、受講生の大幅な減少がみられた。</li> <li>・平成30年度は、台風の影響により「平和祈念祭」が中止になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験生募集に際し、改めて研修の目的や使命を伝え、参加を呼び掛ける。また、過年度の研修生が活躍できる場を今後も糸満市観光協会等と連携し検討する。</li> <li>・市内平和イベントや研修が、台風の影響により中止や延期になったこともあり予備日の設定は今後必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・今後も友好都市交流事業等を通し平和ガイドとして活躍する場を提供する。  
 ・既存のイベントの他、新たな平和関連イベントへの積極的な参加(平成30年度は新たに本市出身戦没者慰霊祭(満霊之塔慰霊祭)、第1回いとまん平和トリムマソンへ参加)。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,297	3,297	2,637	660	0



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○すべての契約について、糸満市契約規則に従って、契約を締結。その後、検査実施し成果品を確認して妥当であったと考えている。 ○不用額については、宿泊研修参加人数減などで発生。 ○費用・使途について支出等に関する書類により確認し適正であったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	戦争遺構保全・活用整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア		
担当部課名	企画開発部 秘書広報課		事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成	
事業内容	平和教育・平和観光に役立てることを目的に、戦争遺構の整備等を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a)当初予算額	19,370	32,533	25,183	7,653	7,491
	(b)予算現額	19,396	32,533	25,183	7,653	7,491	
	(c)増減額(b-a)	26	0	0	0	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	19,396	32,533	25,183	7,653	7,491	
	B.執行済額	18,914	31,792	23,168	5,908	7,379	
	うち交付金充当額	15,131	25,433	18,534	4,727	5,903	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.5%	97.7%	92.0%	77.2%	98.5%	
予算の状況の説明	不用額112千円は入札残によるものであり、事業計画通りに執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	戦争遺構概要版設置(地域説明、設計、工事)	目標	( 調査1件 )	( 設置 )	( 設置 )	( 設置 )	
		実績	ヒヤリング調査4件	設置	設置	設置	
	概要看板設置検討委員会(年4回)	目標	( )	( )	( )	( 4回 )	
実績					4回		
達成状況説明	概要看板設置検討委員会を4回開催し、戦争遺構概要版を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R1年度)
		目標	( )	( 2か所 )	( 4か所 )	( 4基 )	( )
	戦争遺構概要版設置箇所4基	実績		2か所	4か所	4基	
	【R1成果目標】概要版を設置した戦争遺跡を活用した児童生徒への平和学習会参加人数150人	目標					150人
進捗状況説明	当初の計画のとおり①轟の壕②白梅の塔近くの壕③陸軍病院山城本部壕④新川区の街灯の柱へ4基設置した。今後、観光客や児童生徒の平和学習への利活用の促進につながる事が期待される。						

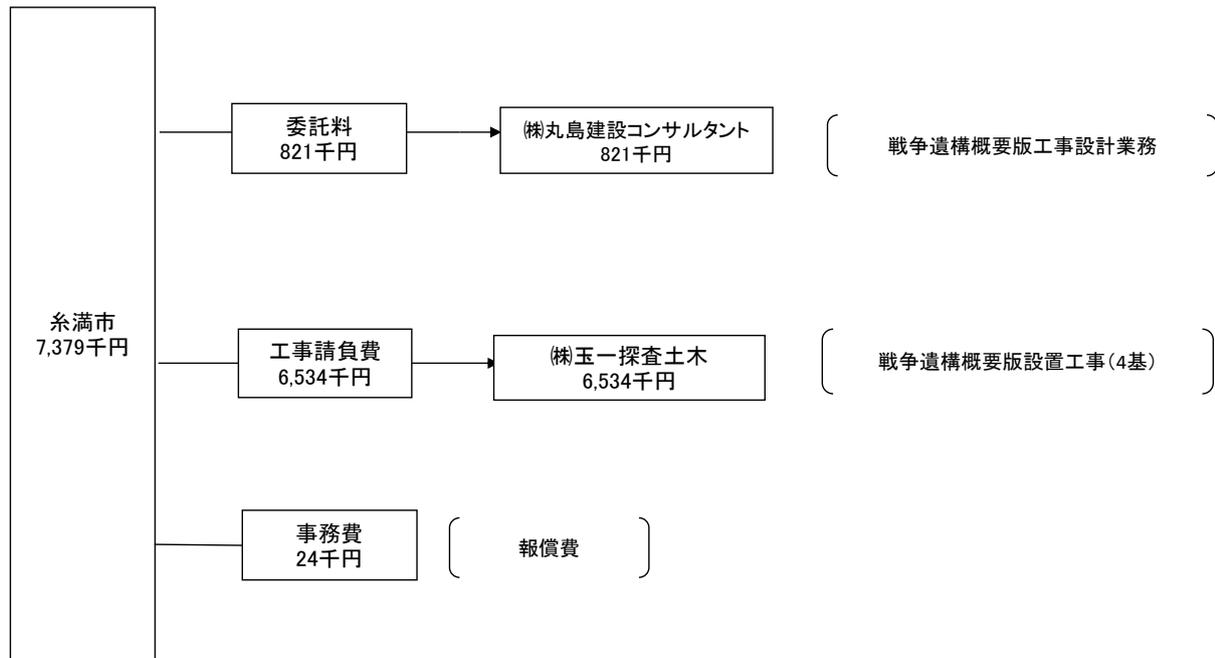
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・概要版の説明文の内容や設置許可に際し、検討委員会で検討、決定後に複数の関係機関へ確認を行ったことにより、看板発注が遅れ工事の期間を延長した。</p>	<p>・工事完了までに時間が掛かってしまったが、地域や関係機関へ説明、確認をとったことにより、事業への理解が得られた。今後は、更なる効率的な計画を要する。</p>

**今後の取り組み方針**

・今後、市のホームページ等を活用し、観光協会や市内の小中学校・高校へ周知を行い、観光客や児童生徒の平和学習につなげる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,379	7,379	5,903	1,476	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○契約については、指名入札を実施。糸満市契約規則に従って、契約を締結。その後検査実施し、成果品を確認して妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は1.5%であり、適正な予算規模である。</p> <p>○費目・使途について支出等に関する書類により確認し適正であったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	確かな学力を育むサポート事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育委員会 指導部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学習支援や学校生活への不適応の児童生徒の学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習指導等支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		24,315	33,005	33,436	42,523	44,760	
		24,123	33,005	36,526	42,523	44,760	
		▲ 192	0	3,090	0	0	
		0	0	0	0	0	
	B. 執行済額	22,673	32,164	34,542	40,306	38,837	
	うち交付金充当額	18,138	25,731	27,633	32,244	31,069	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	94.0%	97.5%	94.6%	94.8%	86.8%	
	予算の状況の説明	不用額5,923千円は、実績に基づく共済費及び賃金の支払い残額によるもの。学校学習指導等支援員が全ての学校に配置できなかった時期や途中離職者等の為、賃金の支払いに残が出た。共済費に関しては、共済費の発生しない短時間勤務支援員を3名配置したため。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	学習指導等支援員配置数 小学校:10人	目標	( 10名 )	( 10名 )	( 10校(10名) )	( 10校(10名) )	
		実績	14名	18名	10校(16名)	10校(13名)	
	学習指導等支援員配置数 中学校:6人	目標	( 6名 )	( 6名 )	( 6校(6名) )	( 6校(6名) )	
		実績	9名	9名	6校(10名)	6校(11名)	
達成状況説明	学習支援を必要とする児童生徒に対し、学校現場へ学習支援等支援員を配置・支援し課題解決に向けて取り組みを行った。年間を通して市内10小学校へ13名、6中学校へ11名の学習支援等支援員を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	県学力到達度調査の県との差 小学校算数 -3%以上	目標	(      )	( -3% )	( -3% )	(      )	(      )
		実績		-3.5%	-3.8%		
	県学力到達度調査の県との差 中学校数学 -2.2%以上	目標	(      )	( -2.2% )	( -2.2% )	(      )	(      )
		実績		-1.6%	-0.4%		
進捗状況説明	・県学力到達度調査での県平均との差 平成29年度は小学校算数平均-3.5ポイント、中学校数学平均-1.6ポイント 平成30年度県学力到達度調査 小学校6年生 算数 県平均61.2%、市平均57.4%、差-3.8ポイント 中学校2年生 数学 県平均53.4%、市平均53% 差-0.4ポイント						

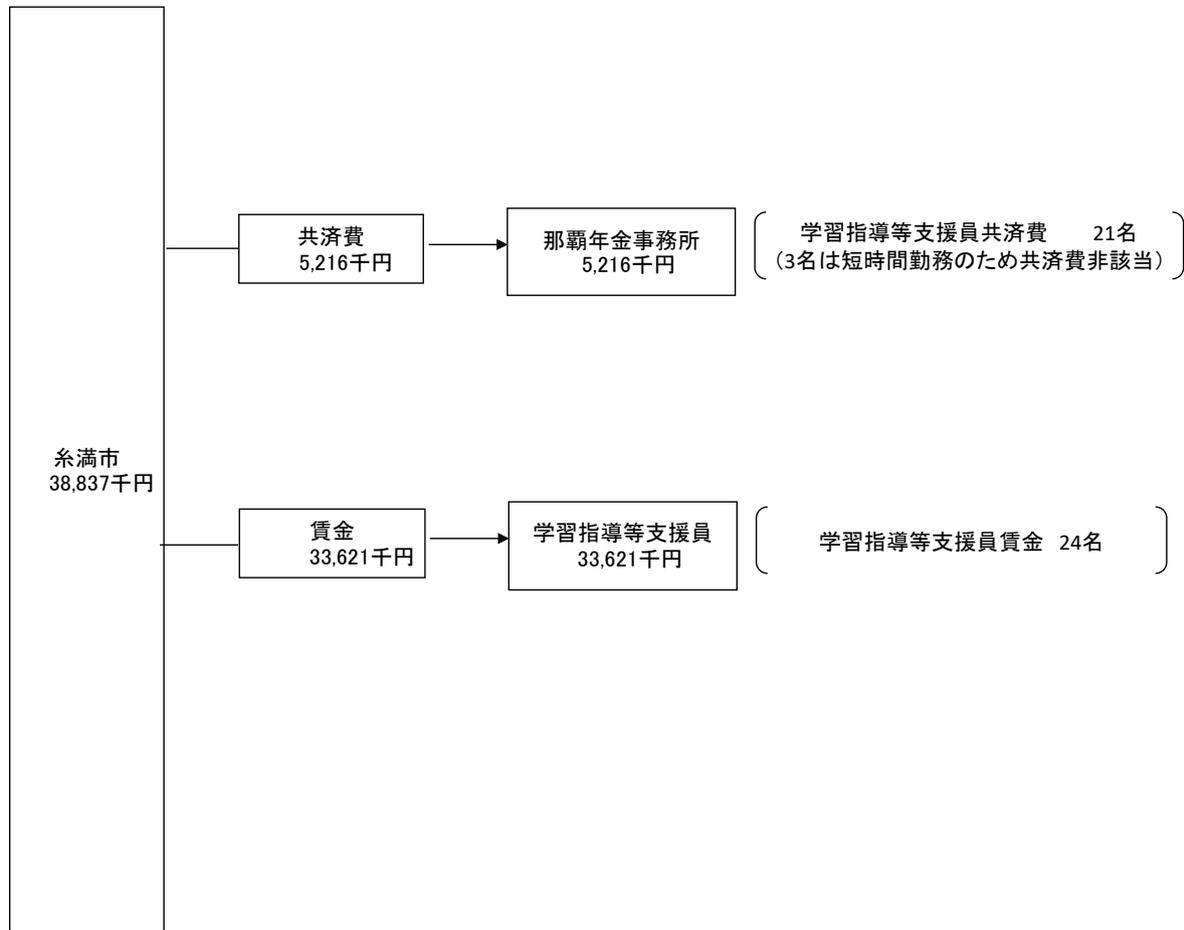
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内すべての小中学校に1人以上の学習等支援員を配置し、学校規模に応じて支援員の複数人配置を行った。どの小中学校も割り当てられた支援員の人数で工夫を凝らしながら対応していることがわかった。しかし、学習に支援が必要な児童生徒が大勢いる状況から、学校の工夫だけでは厳しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の実情から規模に合わせ、支援員の柔軟な配置を検討していく。実際に学校へ赴き、状況の把握やどのような対応をしているか、どのような工夫ができるかを学校と共同で確認し助言していく。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 全国学習状況調査での全国平均との差を目標値として設定し、引き続き児童生徒の学力向上や登校復帰に向けて、学習指導等支援員研修会を開催(年3回程度)し資質向上に努め各学校の実情に合った支援員の活動のあり方について助言をする。
- 児童生徒に学力を身につけさせることは学校の最大の責務であるが、その基礎となる生活習慣の確立等を家庭と共に進めていくことが望ましい。
- 学校が進めるべきこと、家庭がするべきことを見極めながら、学校での取り組みを模索していく。例として、遊び非行型の不登校生徒への支援や家庭に課題がある児童への支援を強化する等の策を検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
38,837	38,837	31,069	7,768	



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習指導等支援員の公募・選考を行い適切な人材と考えている。 ○不用額は発生したものの、適正な予算規模であったと考えている。 ○費目・使途について支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	英語指導事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 指導部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	英語指導を通したコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校に英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		21,845	21,897	20,568	20,179	23,178
			21,845	21,897	20,568	20,179	23,178
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
			21,845	21,897	20,568	20,179	23,178
	B. 執行済額		21,510	21,083	19,820	19,907	19,524
	うち交付金充当額		17,208	16,866	15,855	15,925	15,619
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.5%	96.3%	96.4%	98.7%	84.2%
予算の状況の説明		平成30年4月~平成31年3月の期間、市内の全小中学校に英語指導助手を配置することにより、予算計上どおりに概ね執行できた。不用額3,654千円は実績に基づく報酬費および共済費の支払い残額によるで、途中退職と後任の雇用時期に間隔等が発生したことが主な原因。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	英語指導助手配置数 小学校:5人	目標	( 4人 )	( 4人 )	( 4人 )	( 5人 )	
		実績	4人	5人	5人	6人	
	英語指導助手配置数 中学校:3人	目標	( 3人 )	( 3人 )	( 3人 )	( 3人 )	
		実績	3人	3人	3人	4人	
達成状況説明	平成30年4月~平成31年3月の期間、市内小学校10校に6人、中学校4人を配置している(途中、退職した者もいたが、基本は市内小学校10校に4人、中学校3人の人員数で、各校を巡回する体制をとった)。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	H31年度	目標値(年度)
	小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証	目標	(      )	( 66% )	( 80% )	(      )	(      )
		実績		90.2%	85.1%		
	中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +0.1ポイント	目標	(      )	(      )	( 0.1 )	(      )	(      )
		実績			-1.7		
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中退職した者もいたが、空白期間を作らないように入選を速やかに行い再配置を行った。</li> <li>若干の調整期間は生じたが、授業に差し支えなく事業を展開することができた。</li> <li>児童の英語学習への興味、関心度は小学校で85.1%を達成できた。</li> <li>中学生の沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +0.1ポイントを達成できなかった。</li> </ul>					

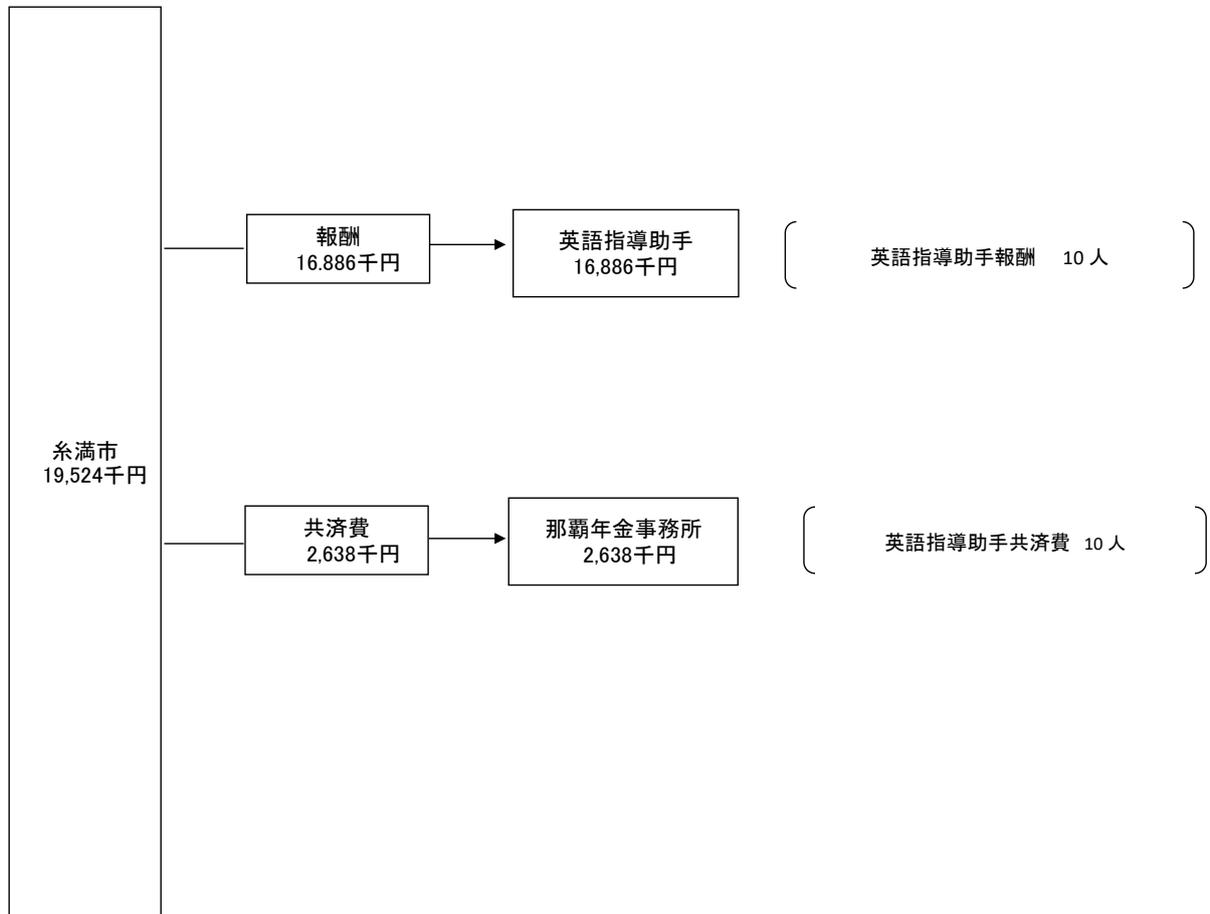
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は、新学習指導要領への移行期間で、小学校3・4年生で年間15時間、5・6年生で50時間の外国語活動が行われた。授業を計画し主導する教諭と英語指導助手との意思疎通と、綿密な打ち合わせが必要である。</li> <li>英語指導助手の指導技術、教材活用力の均質化、向上を図ることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度で懸念された英語指導助手のスケジュール調整については、学校間移動を最短化する等、配置校に工夫する。離職を予防する観点からも、本人の配置希望にも配慮する。</li> <li>英語指導助手の研修機会の設定、連絡会等を定期開催する。その上で、授業レビュー、授業展開の工夫や成功事例等の情報を共有し、各校の授業展開につなげる。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 担当教諭と英語指導助手と意思疎通、授業打ち合わせの時間確保を図り、連携関係の構築、強化を図る。
- 公開授業の相互参観、情報交換会等の場を設定し、指導方法、授業支援の質向上の機会を確保する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
19,524	19,524	15,619	3,905	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○英語指導助手の公募・選考を行い適切な人材と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は発生したものの、適正な予算規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③	適応指導教室設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ		
	担当部課名	教育委員会 指導部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	6,119	6,129	6,377	6,700	6,726
	(b) 予算現額	6,119	6,129	6,377	6,720	6,726	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	20	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	6,119	6,129	6,377	6,700	6,726	
	B. 執行済額	6,057	5,979	6,291	6,047	6,079	
	うち交付金充当額	4,845	4,783	5,032	4,837	4,863	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.0%	97.6%	98.7%	90.3%	90.4%	
予算の状況の説明	不用額647千円は実績に基づき報酬費および共済費、賃金の支払い残額によるもので、4月から6月に掛けて教育相談員2名欠員の発生が主な原因である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	適応指導教室主任担当配置数:1人	目標	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	
		実績	1人	1人	1人	1人	
	適応指導教室補助担当配置数:1人	目標	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	
		実績	1人	1人	1人	1人	
	適応指導教室教育相談員:2人	目標	( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	
実績		2人	3人	3人	2人		
達成状況説明	4月から6月に掛けて教育相談員2名欠員があったが、概ね目標は達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 35%	目標	( )	( 35% )	( )	( )	( )
		実績		35.5%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	平成30年4月～平成31年3月、庁舎敷地外糸満市西崎町内に教室設置。主任担当員、補助担当員の他、教育相談員を配置し、入所した児童生徒に社会性、学校適応力を醸成するため、体験活動、学習指導、教育相談等を計画的、組織的に行い、適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率35%以上を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心因的な問題を抱えた児童生徒を受け入れていることから、「安心できる居場所」になるよう留意している。</li> <li>・家庭内の問題が起因していることが見込まれるが、適応指導教室のみでは、抜本的な問題解決は困難である。</li> <li>・児童生徒の事情が個々で違うこと、心因的な要素が大きく影響していることから、きめ細かい取り組みが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一に、社会への関わりを確保することが重要であり、そのために適応教室が児童生徒にとって「安心できる居場所」になること、個に応じた学習支援が充実を図る必要がある。</li> <li>・家庭内問題を疑われるケースでは、他機関(スクールソーシャルワーカー、福祉事務所等)との連携を図り解決に向け対応することで、不登校問題を軽減する余地がある。</li> <li>・個々の事情に応じた、きめ細やかな指導、対応を図ることで、学校復帰の可能性が高まる余地がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

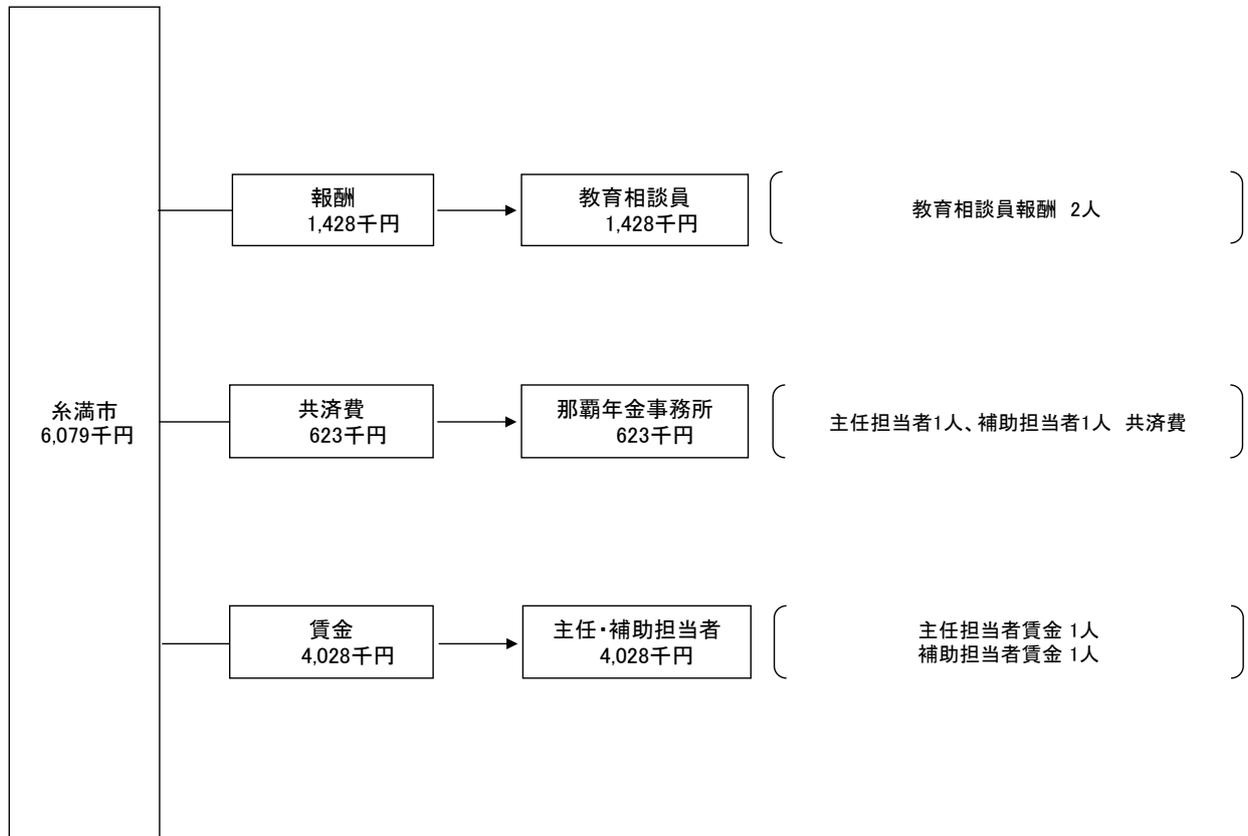
・児童生徒の「安心できる居場所」になることを継続する。その上で、個々の事情に応じた学習支援、外部機関との連携を図り不登校問題に起因する要素を解消する取り組みを継続して展開する。

・学校との連携、情報共有を強化し、チャレンジ登校、別室登校等、学校復帰へつなげる取り組みを適宜実践する。

・社会との関わりを持つ意味で、域内適応教育との合同学習の機会を増やす。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,079	6,079	4,863	1,216	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○教育相談員:小学校教諭を退職した経験のある人材を採用。主任・補助担当者:教諭経験と他市町村での適応指導教室運営経験のある人材を採用している為、適切な人材と考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○不用額647千円は適正な予算規模であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

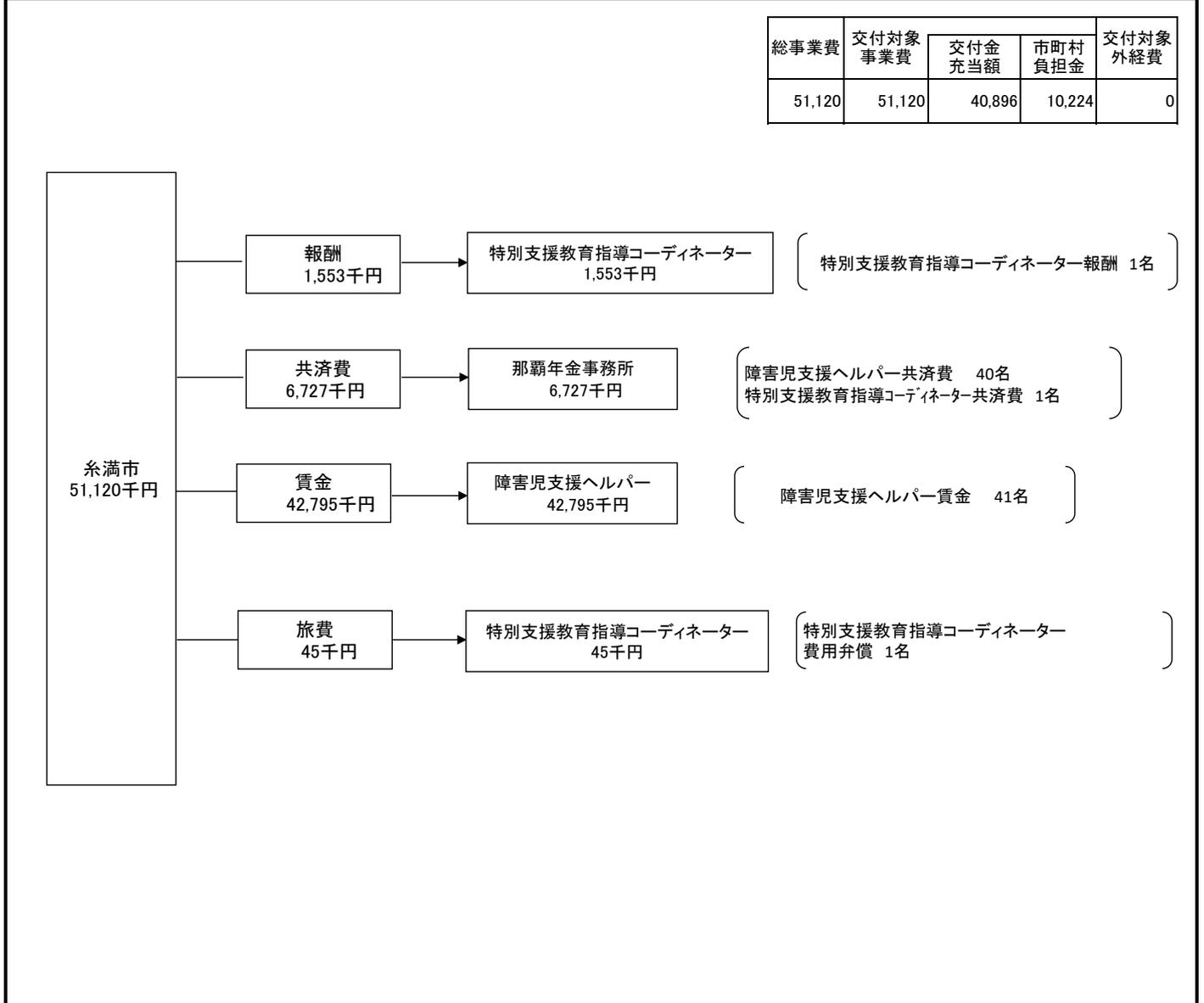
市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-④	障害児学習環境づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 指導部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 III-3-(1)		
事業内容	特別な支援を要する障害がある幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		43,938	49,985	45,159	49,706	64,976
			48,535	44,693	47,256	50,988	64,976
			4,597	▲ 5,292	2,097	1,282	0
			0	0	0	0	0
			48,535	44,693	47,256	50,988	64,976
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		44,803	44,034	46,004	48,276	51,120
			35,842	35,227	36,803	38,621	40,896
			0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	92.3%	98.5%	97.4%	94.7%	78.7%
予算の状況の説明	特別支援教育指導コーディネーター1名及び障害児支援ヘルパーの採用(フルタイム雇用含む)が難航したことなどから、報酬、共済費及び賃金において、不用額13,856千円が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	障害児支援ヘルパー配置(39人)及び派遣(認定こども園、幼稚園、小・中学校)	目標	( 37人 )	( 34人 )	( 33人 )	( 39人 )	
		実績	48人(幼:15人、小:32人、中:1人)	35人(幼:8人、小:24人、中:3人)	40人(幼:11人、小:28人、中:1人)	41人(こ:9人、幼:3人、小:26人、中:3人)	
	特別支援教育指導コーディネーター配置(2人)	目標	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	( 2人 )	
実績		1人	1人	1人	1人		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児支援ヘルパーについて、延べ41人ではあるものの、採用難により常時必要な人数は確保できなかった。</li> <li>・特別支援教育指導コーディネーター配置は、認定こども園を指導・相談活動ができるOB等を中心に採用活動を行ったが確保できなかった。</li> <li>・学期ごとに研修会を開催し、資質向上を図った(年3回)。</li> <li>・特別支援教育指導コーディネーターを1名配置した。市内各小中学校等から要請を受け、特別支援教育に関する指導、相談活動を行った。</li> <li>・その他、特別支援教育研修会を適宜開催した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	H31年度	目標値(年度)
	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( )	( )
		実績		89.7%	92.7%		
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児童生徒の保護者へアンケートを実施。特別支援員の対応について満足度調査を行った。結果92.72%(51/55)で目標を達成できた。また、その他意見においても、次年度も利用したい旨の要望が複数見られる為、今後も本事業を継続すべきと考える。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児支援ヘルパーは、各園・各学校の要望に全て応じることは困難である。</li> <li>・支援を要する園児・児童・生徒は年々増加し、大半は情緒障害が占め、教室を飛び出す、暴言を吐く等、対応困難なケースが多い。</li> <li>・保護者、支援学級担当からの相談は増加傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の要望と配置基準には乖離がある。これを適正に判断するには、情報収集、専門家の知識と経験による精査が必要となる。また、障害児判定委員会で障害児支援ヘルパー配置についての判定を行っているが、委員会開催前に人員配置の適正化に向けた現場からの情報収集を行うことが必要である。</li> <li>・4月の学級担任研修会、年3回の特別支援ヘルパー研修会を実施し、資質の向上と学級担任との連携を強化し、組織的対応の強化を図る。そして、状況が深刻化してからでは対応が厳しくなるため、早い段階からの適切な指導・支援を重点的に行い、改善を図る。</li> <li>・特別支援教育コーディネーターによる現場視察、相談活動を通じて、不安の軽減、適切な指導、助言を行い、支援の充実を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・現場職員と情報交換を通して、適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。  
 ・要支援児童の早期発見、理解、教育を支援する体制を充実させる。具体的には、①関係機関(こども園、幼稚園、小・中学校、保育こども園課、教育委員会等)との連携強化、②研修会の実施による資質向上、③就学支援相談会の開催等を引き続き展開する。  
 ・特別支援教育コーディネーターによる必要な支援を展開する。具体的には、①適宜現場視察の実施、②関係者との情報交換、共有、③必要な助言等を行う。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



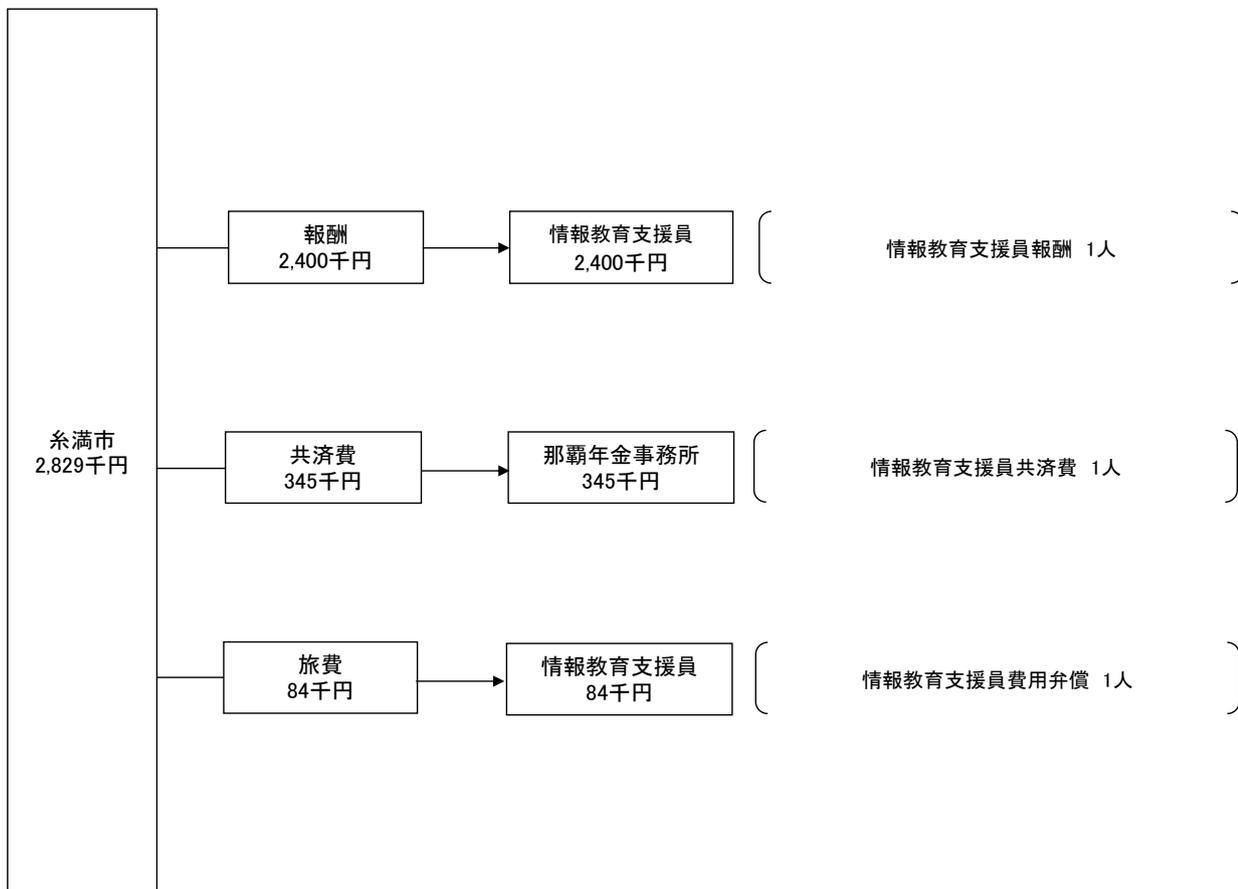
資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○障がい児支援ヘルパーの公募・選考を行い、適切な人材と考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○配置人数が目標に達しなかったことが原因で不用額を発生させてしまったが、今後はヘルパーを確保できなかった場合、早期の補正予算、流用を図る。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-⑤	情報教育環境づくり事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	教育委員会 指導部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、情報機器および学習支援ソフトを導入する。また、情報教育支援員を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(b) 予算現額	30,690	207,732	55,742	26,951	2,849
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 5,187	23,209	6,698	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	30,690	202,545	78,951	33,649	2,849	
	B. 執行済額	29,883	199,649	77,841	33,478	2,829	
	うち交付金充当額	23,905	159,718	62,272	26,782	2,263	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.4%	98.6%	98.6%	99.5%	99.3%	
	予算の状況の説明	執行率99.3%であり、予算計上どおり概ね執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	情報教育支援員の配置1人	目標	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	
		実績	1人	1人	1人	1人	
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	毎月市内小中学校から派遣要請を受け、計画表を作成し、計画に沿って情報教育支援員を派遣できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	H31年度	目標値(年度)	
		児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証	目標	( 80% )	( 80% )	( )	( )
		実績	94.3%	90.5%			
	情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	目標	( 80% )	( 80% )	( )	( )	
実績		97.5%	93.7%				
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒へのアンケートで、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと回答した割合が90.5%と目標を達成している。</li> <li>教職員へのアンケートでは、ICT機器の利用頻度が増えた、幅が広がったとの回答が93.7%と目標とする指標を達成している。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板等のICT機器の整備は一定の水準に達している。授業にどのように活用するか、機器をどのように操作するか等の支援を今後とも行う。</li> <li>人事異動により、各教員と構築した関係性が初期化されることから、その構築をいかに速やかに行えるかが課題である(その教員の、活用能力、どのように授業展開を企図しているかの把握、必要な支援等の理解に時間を要す)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教員の活用能力に応じた、適度な支援を行う。比較的活用能力が低いケースがあれば、集中的な支援を図る。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>教員、児童生徒の授業支援を行うことで、ICT教育の理解、推進を図る。</li> <li>教職員の習熟度に応じた、メリハリのある支援活動を展開し、ICT活用能力の向上を図る。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,829	2,829	2,263	566	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報教育支援員は経験のある人材を採用している為、適切な人材と考えている。</li> <li>○不用額は予算の1%以内であり、適正な予算規模である。</li> <li>○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-① 子育て応援NPO活動支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ		
	担当部署名	福祉部 子ども未来課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4	
事業内容	子育ての困難な親などの養育支援を行うため、NPOを活用して相談や学習会などを開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,459	5,459	8,711	5,459	5,459
		(b) 予算現額	5,459	5,459	5,459	5,459	5,459
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 3,252	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	5,459	5,459	5,459	5,459	5,459
	B. 執行済額		4,918	5,459	5,459	5,223	5,459
	うち交付金充当額		3,934	4,367	4,367	4,179	4,367
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		90.1%	100.0%	100.0%	95.7%	100.0%
予算の状況の説明		当該事業は、NPO法人へ業務を委託しているため、予算は委託費で計上している。 当初計画に基づき事業を実施したことにより、不用額が生じることなく予算が執行できた。					
活動目標(指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	子育てが困難な状況にある家庭に対し、訪問活動等の子育て支援 ・相談活動80件 ・訪問活動70件	目標	( 訪問活動等 150件 )	( 訪問活動等 150件 )	( 訪問活動等 150件 )	( 訪問活動等 150件 )	
		実績	訪問活動等 150件	訪問活動等 321件	訪問活動等 485件	訪問活動等 1,156件	
	子育てが困難な状況にある家庭に対し、研修会等の子育て支援 ・親対象研修会6回 ・支援者対象研修会10回	目標	( 研修会等 22回 )	( 研修会等 22回 )	( 研修会等 16回 )	( 研修会等 16回 )	
実績		研修会等 22回	研修会等 22回	研修会等 17回	研修会等 15回		
達成状況説明		・訪問活動等については、当初の目標値を大幅に上回ることができ、NPOの支援活動に対する認知度が高まるとともに、支援機関としての定着につながった(相談活動:759件、訪問活動:397件)。 ・親対象研修会については、子育てに必要な知識の習得や自己肯定感を高めるため、料理講座、おやつ作りや子どもの健康管理などを実施することで親の自信につなげるとともに、コミュニケーション能力の向上を図った。 ・支援者対象研修会については、支援員からの要望を踏まえ、ロールプレイを導入した研修を導入することにより、より実践的なスキルアップにつながった。					
成果目標(指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	子育て支援により、育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	目標	( )	( )	( )	( 不安軽減 80%以上 )	( )
		実績				不安軽減 100%	
	【参考指標】 支援目標達成率40%	目標	( )	( 達成率 40% )	( 達成率 40% )	( 達成率 40% )	( )
		実績		達成率55%	達成率13%	達成率58%	
進捗状況説明		・偏食気味の子どもへの対応や身近に起こりうる事故や急な病気に対しての具体的な取組みなど養育力向上につながった。 ・料理講座を受講した方から、家庭で実践してNPOに差し入れしたいとか、支援員に気軽に相談し、メール等にて近況を報告するなど互いの信頼関係の構築につながった(支援員対象研修会:回数9回、参加者97名)。 ・平成30年度については、支援世帯(12世帯)に対して7件を終結することができたことから、当初の目標を達成することができた。					

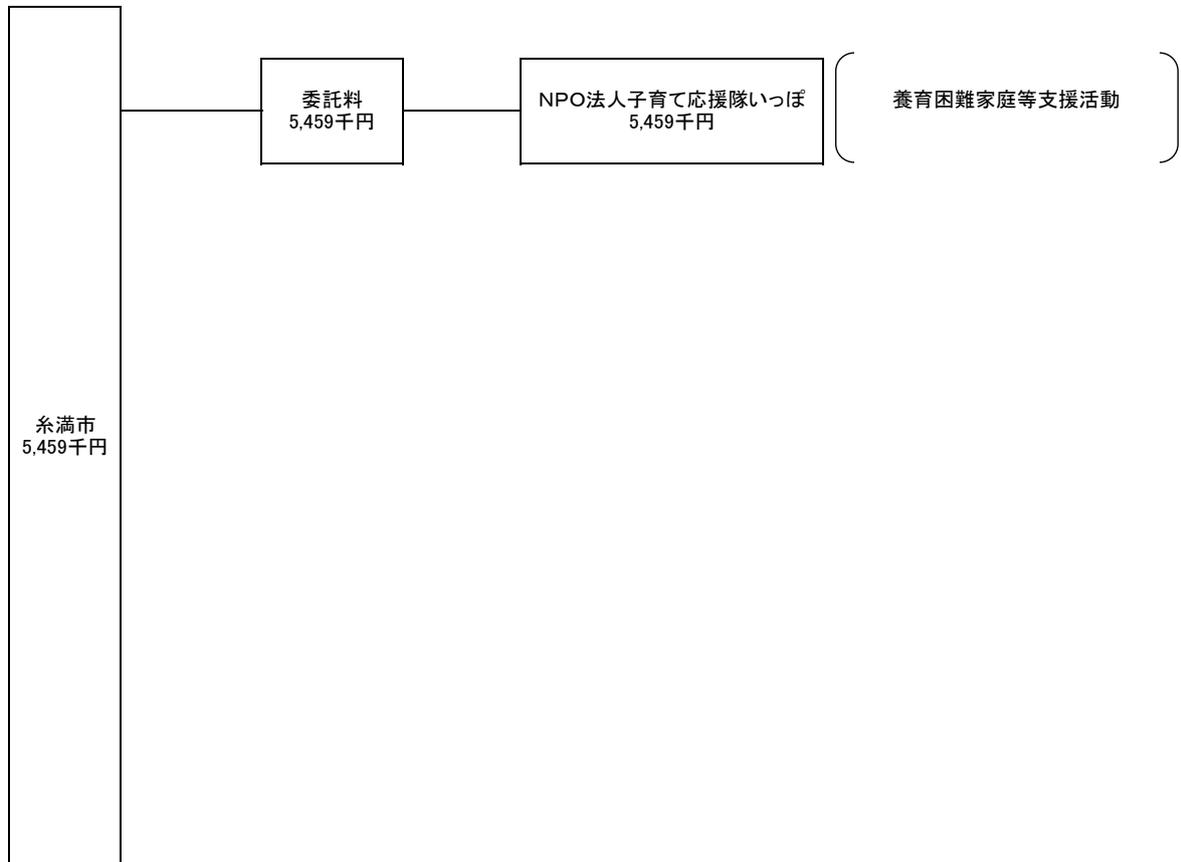
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員、ボランティア員の確保が難しく、支援体制の強化が必要となる。</li> <li>・困り感のある親に対してさらにきめ細やかな寄添い支援が必要となる。</li> <li>・関係機関から支援者の必要とされている情報が開示されない時があり、支援がスムーズに行かない時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人として認知度を高めるとともに、支援員の認定にあたり実践形式の研修を行うことで、体制の強化につなげる。</li> <li>・子育てに関する困りごとや悩みごとが複雑化していることから、多様なニーズに対応するために少人数や個別での支援を行う。</li> <li>・関係機関との信頼関係の構築にあたり、意見交換の機会の充実に努める。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・NPO法人の設置目的や活動内容を啓発するため、フライヤーを製作し関係機関には配布するとともに、当事者との信頼関係を築くスキルやロールプレイ等の実践的な研修の充実を図る。  
 ・事業の効果検証の一環として、育児に関する不安が軽減されたかなど、支援者を対象にアンケートを実施し、事業の効果検証及び課題の抽出を図る。  
 ・意見交換の機会として、子育て支援の関係部署及び関係機関を対象とした「子育て支援ネットワーク会議」を創設する。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,459	5,459	4,367	1,092	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者については、専門的知識を有し、業務実績を勘案した公募型プロポーザル方式を採用したことから、選定については妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○当初計画どおりに執行し、事業に見合った予算規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-② 母子生活支援モデル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-エ		
	担当部署名	福祉部 こども未来課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	要保護児童やひとり親家庭等への支援 III-4	
事業内容	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、住宅支援や就労支援等、自立に向けた支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	28,170	26,082			
		(b) 予算現額	13,444	26,082			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 14,726	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	13,444	26,082			
	B. 執行済額		11,629	21,755			
	うち交付金充当額		9,303	17,404			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		86.5%	83.4%			
予算の状況の説明		当該事業は、公益社団法人へ業務を委託しているため、予算は委託費で計上している。不用額4,327千円については、住宅等支援事業や付帯事業の減などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	ひとり親家庭の自立に向けた支援		目標 ( 実施 )	( 実施 )	( )	( )	
			実績	実施	実施		
			目標				
			実績				
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親家庭の生活支援の相談業務として、平成30年度は延べ642件の実績となった。</li> <li>支援世帯を対象として、パソコン講習や生活設計講座(家計管理等)を実施した。</li> <li>支援世帯の児童に対して、基本的な生活習慣の習得や学習習慣の定着等の支援を行った。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	支援対象者のうち自立につながった割合60%以上		目標 ( )	( )	( 60%以上 )	( )	( )
			実績		75%		
	【参考指標】支援したひとり親家庭世帯数		目標 ( )	( 3世帯 )	( 5世帯 )	( )	( )
			実績		3世帯	4世帯	
	進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度中に支援した4世帯のうち、3世帯において自立につながった。</li> <li>相談に訪れた方に対して、本事業に適合するか他の事業に案内するかの整理を行い、事業に適合する方については訪問等の実施により調査を行った。実態調査の結果を踏まえ、住宅支援や就労支援、債務整理等により自立計画の道筋が立てられる方を対象に、支援決定委員会で審議を行い、平成30年8月に1世帯の支援を決定した。</li> </ul>				

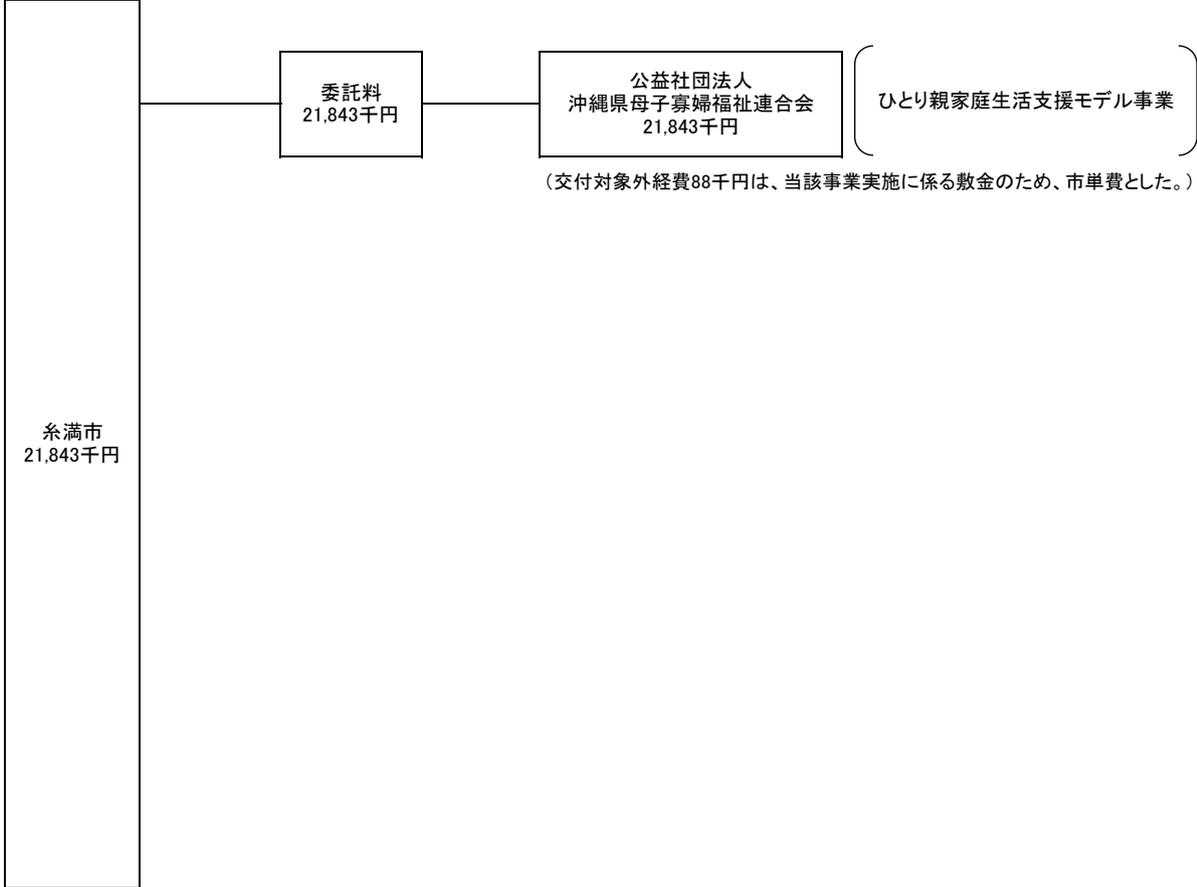
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な課題を抱えているひとり親家庭が多いことから、当該事業のみならず総合的なひとり親家庭の支援の窓口として、ワンストップの機能を担う必要がある。</li> <li>現在の生活状況や債務の状況などのセンシティブな問題を、円滑に引き出して具体的な支援計画を作成するには、互いの信頼関係の構築が必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親家庭の支援策は多岐にわたることから、関係機関との有機的な連携を図るとともに、支援員のスキルアップ研修を積極的に取り入れる。</li> <li>事業に関する啓発活動の強化を図るとともに、支援を求める方にアウトリーチの手法を導入することで、信頼関係の構築に努める。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・支援体制の充実を図るとともに、関係機関との連携体制を強化することで、ひとり親家庭の相談窓口の拠点機能として推進する。  
 ・本事業の支援の両輪は、就労と債務整理を含む自立に向けた具体的な取組みとなっていることから、安定的な雇用に結び付けることと経済基盤の構築に向けて取り組む。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

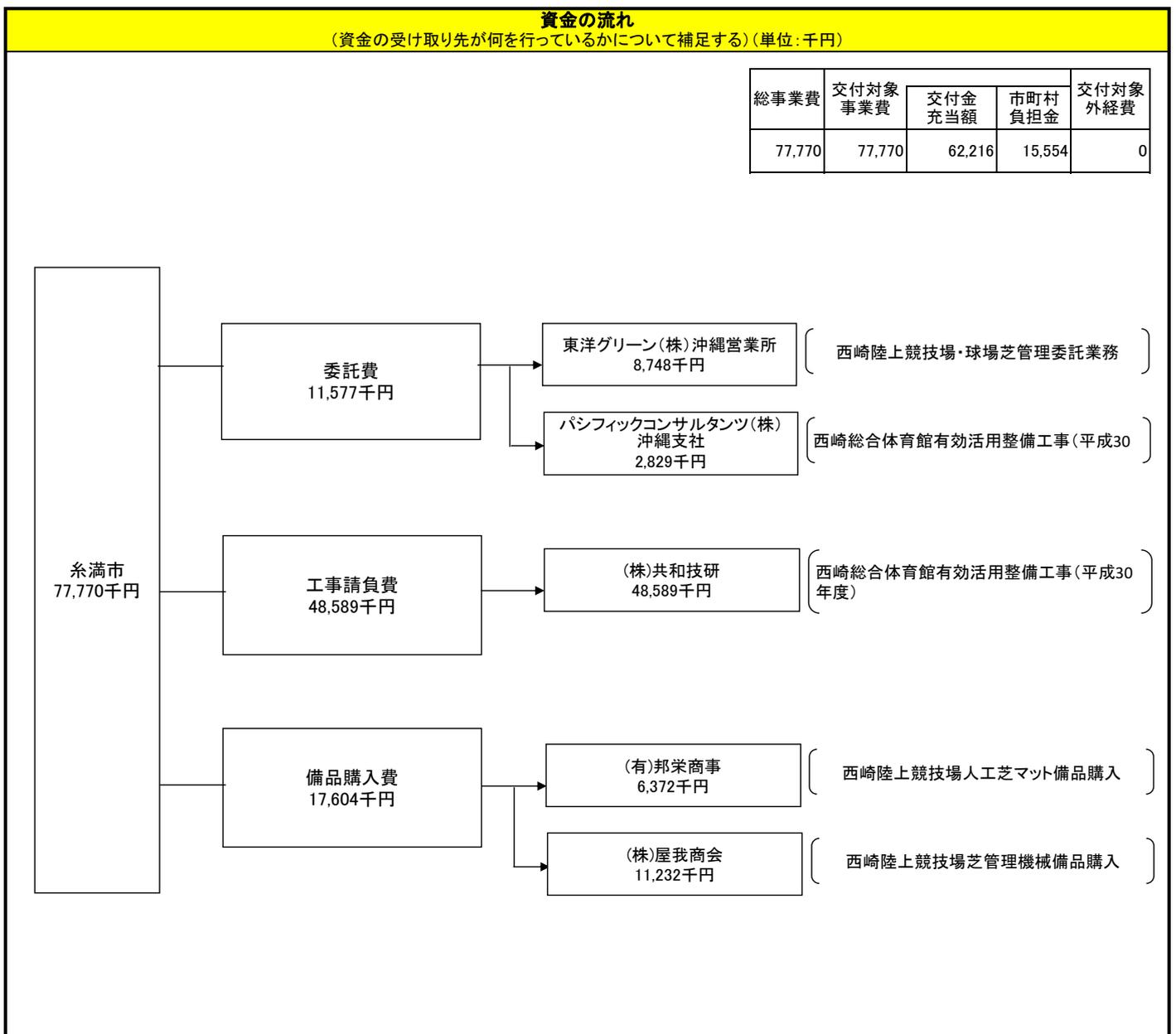
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
21,843	21,755	17,404	4,351	88



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者については、専門的知識を有し、業務実績を勘案した公募型プロポーザル方式を採用したことから、選定については妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業に必要な見積りにより支出しており適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		糸満市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	運動公園・体育施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
担当部課名	建設部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	14,551	136,793	-	80,460	
		(b) 予算現額	30,751	136,793	-	80,460	
		(c) 増減額(b-a)	16,200	0	-	0	
		(d) 繰越額	0	0	53,125	0	
	A. 計(b+d)		30,751	136,793	53,125	80,460	
	B. 執行済額		29,916	83,668	70,380	77,770	
	うち交付金充当額		23,932	66,934	56,304	62,216	
	次年度繰越額		0	53,125	0	0	
	執行率(%) (B/A)		97.3%	61.2%	132.5%	96.7%	
予算の状況の説明		不用額2,690千円は入札執行による残額であり、執行率96.7%は適正な規模の範囲であると考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	西崎運動公園芝管理	目標	( 実施 )	( 実施 )	(      )	(      )	
		実績	実施	実施			
	西崎総合体育館メインアリーナフローリング補強	目標	(      )	( 実施 )	(      )	(      )	
		実績		実施			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西崎陸上競技場・球場の芝管理を実施した。</li> <li>・西崎総合体育館メインアリーナフローリングの補強を実施した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(H27年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		目標	( 9件 )	( 13件 )	( 13件 )	(      )	(      )
	実績			11件	9件		
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西崎陸上競技場及び西崎球場の合宿数増加に向けて取り組んだが、当初目標13団体の合宿誘致に対し、9団体の合宿であった。</li> </ul>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西崎総合体育館メインアリーナフローリング補強及び西崎運動公園陸上競技場・球場の芝管理を実施したことから、アマチュアスポーツ利用者の利用増が図られている。</li> <li>・平成29年度に続き、J1リーグのキャンプ(2件)実施により、子供達が夢と目標を持つ機会の創出、周辺商業施設等への経済波及効果等が期待できる状況にある。</li> <li>・合宿誘致件数13件の成果目標に対し、平成29年度11件、平成30年度9件と、目標値に達していないことから成果目標の達成に向けて利用者の確保に取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アマチュアスポーツ利用者の利用増が図られつつある現状において、実績を基に施設の利用者増に繋げるべく、シーズンオフ時期の合宿強化に取り組むことで、利用者の増に繋げていく必要がある。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西崎運動公園施設の整備や芝管理により施設が機能強化された部分、過年度の合宿実施状況等の実績のPRを行い、全国規模の大会誘致、シーズンオフ時期(夏場)の合宿誘致等へのアプローチに取り組んでいく。</li> </ul>		



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札、及び地方自治法施行令第167条の2第1項第2号を根拠とした現場に精通した者による随意契約等の適正な手続きのもとに実施されており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	